
手動ジョブ

手動ジョブを実行するには、次のことができる役割が必要です。

- 1) **[ジョブの実行-実行するジョブを選択]**ページにアクセスし、
- 2) ジョブを実行します。

このページにアクセスするには、**[コンテンツタイプ別の手動ジョブ]**テーブルの**[役職]**列にリストされている役職の1つである必要があります。

実行できる（ユーザー役職で使用可能な）ジョブのみが **[ジョブを実行 - 実行するジョブを選択]**ページに表示されます。

このセクションでは、PO line のリストや冊子など、定義済みのオブジェクト セットに対してジョブを手動で実行する方法について説明します。ジョブの実行ページ（**[管理] > [ジョブとセットの管理] > [ジョブの実行]**）から行えます。スケジュール済みジョブの設定と監視、実行中のジョブに関する情報の表示など、ジョブの管理の詳細については、「[Alma でのジョブの管理](#)」を参照してください。

ジョブを実行ページで選択したセットに対してジョブを実行する

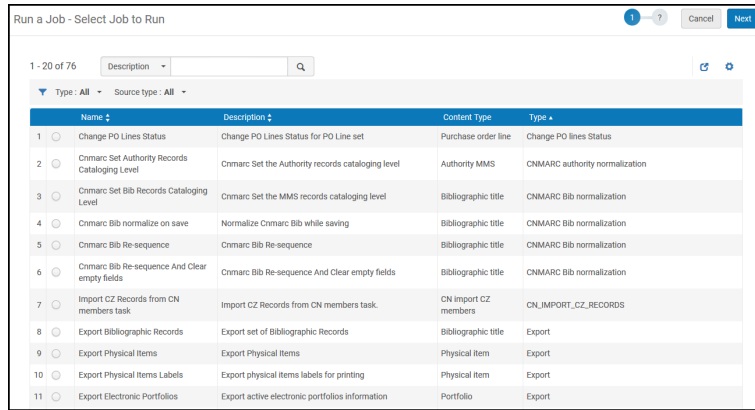
[作業を実行する] ページで、まずジョブを選択し、次にジョブを実行するセットを選択します。

Note

リポジトリジョブは、Discovery インポートプロファイルを使用して Primo VE にインポートされた外部レコードを含むアイテムセットでは実行しないでください（Primo VE ドキュメントの「[プロセスの概要](#)」を参照）。

ジョブの実行ページからセットでジョブを実行するには:

1. 定義されたセットがない場合、または実行中のジョブに特定のセットが必要な場合は、最初にセットを定義する必要があります。セットの定義については、[検索クエリとセットの管理](#)を参照してください。
2. 「**[ジョブを実行-実行するジョブを選択]**」ページで (**管理 > ジョブとセットの管理 > ジョブを実行**)、実行するジョブを見つけます。各ジョブにはテーブル内のジョブを表示する特定の役職が必要なことにご注意ください；[手動ジョブとそれに関連するパラメータ](#)を参照してください。図書館レベルの役職の場合は、**[ジョブを実行]**ページにジョブが表示されないことに注意してください。



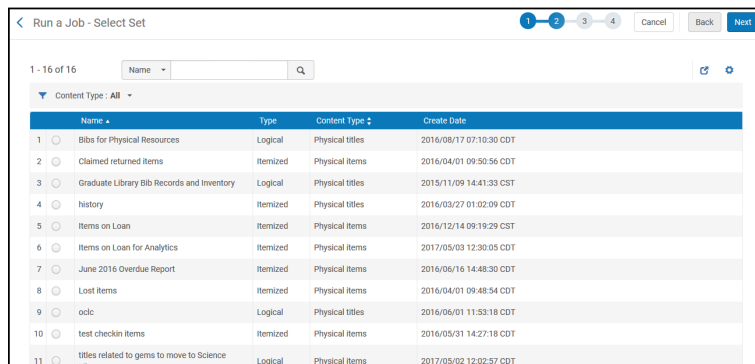
各ジョブについて、下記の情報が表示されます：

「ジョブを実行 - 実行するジョブを選択」ページの各列

名称	説明
名称	ジョブの名称。
説明	ジョブの説明。
コンテンツのタイプ	ジョブが処理するセットのタイプ。たとえば、冊子のタイトル、デジタルタイトル、書誌レコードなど。
タイプ	実行されるリクエストやジョブのタイプ (たとえば、エクスポート、アイテムの移動、リクエストなど)。

3. ジョブを選択し、次を選択します。

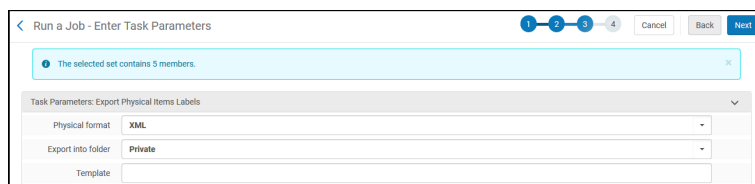
「ジョブを実行 - セットを選択」ページが表示されます。



「ジョブを実行 - セットを選択」ページ

4. セットを選択し、次を選択します。

設定すべきパラメータがある場合、「ジョブを実行 - タスクパラメータを入力」ページが表示されます。設定すべきパラメータがない場合、ワークフローはこのページをスキップします。



「ジョブを実行 - タスクパラメータを入力」(例) ページ

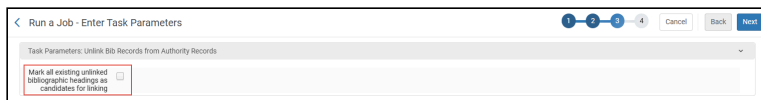
Note

最後の手順で選択したセット内のメンバー数がこのページに表示されます。この数が、選択したセットに基づいて予想したものと類似していることを確認します。

必要なパラメータを入力します。各ジョブの設定に必要なパラメータを確認するには、[手動ジョブとそれに関連するパラメータ](#)を参照してください。

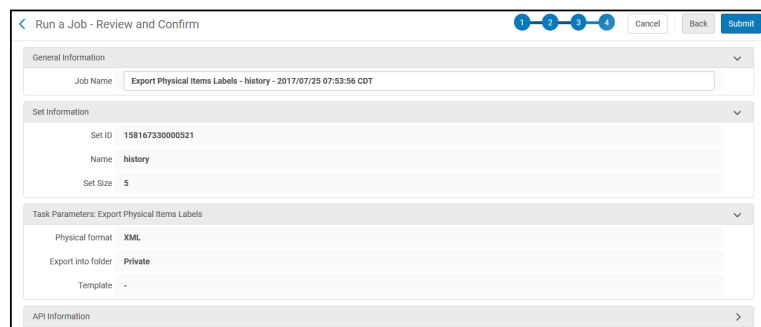
Note

部分リンキングが有効化されている場合 ([auh_name_partial_linking](#) ([設定]>[リソース]>[一般]>[その他の設定]))を参照)、タスクパラメータに **既存の未リンキング書誌見出しをすべてリンキング候補としてマークする** チェックボックスオプションが表示されます。このチェックボックスを選ぶと、新規または更新された書誌レコードが部分リンキング処理の対象になります。さらに、ジョブを実行すると、リンクされた見出しはリンクされたままになります。このオプションは、部分リンキングパラメータが無効化されている場合、またはリンキングストラテジーが ID の場合は使用できません。



既存のリンクされていない書誌見出しを、すべてリンク候補としてマークする

5. 次を選択します。ジョブを実行 - レビューと確認ページが表示されます。



「ジョブを実行 - レビューと確認」(例) ページ

6. より説明的なジョブ名を入力して(任意)、デフォルトのジョブ名を置き換えます。入力した名称によって、編集と監視のためにこのジョブを識別します。
-

Note

最後の手順で選択したセット内のメンバー数がこのページに表示されます。この数値が、選択したセットに基づいて予想したものと似ていることを確認します。API 情報セクションの詳細については、「[開発者ネットワークドキュメント](#)」を参照してください。

7. オプションで、定期的なタスクであるか、1回限りの操作であるかを問わず、マニュアルジョブを実行するスケジュール期間を設定します。スケジュールセクションでは、ジョブを自動的に実行できます。他のジョブは、事前に定義されたジョブスケジューリングオプションを使用してスケジュールを設定できます。

Note

- 。スケジュールされたジョブは、可能な限りスケジュールされた時刻に近い時間に実行します。手動ジョブをスケジュールする場合、スケジュールされた時刻はジョブの実行がトリガーされる時間であり、実際の実行は後で開始される場合があります（システムリソースによって異なります）。システムはジョブの実行を次のように計算します。

各実行の後に、システムは次回の実行時刻を計算し、(アクティブな場合)現在の時刻がその「次回の実行時刻」以降であるかどうかを(数分ごとに)確認し、そうである場合はそのジョブを実行します。

スケジュールを無効にしてから再度有効にすると、ジョブはすぐに実行されます。これを回避するには、スケジュールを削除して再作成する必要があります。

- 。手動でスケジュールされたジョブの表示の詳細については、[スケジュールされた手動ジョブの表示](#)を参照してください。

ジョブの実行後に送信されるEメール通知を設定します（電子メール通知）。詳細については、[スケジュールされたジョブのEメール通知の設定](#)を参照してください。

スケジュールされた手動ジョブ

8. ジョブ情報をレビューし、下記の事項を行います：

- 。送信を選択し、ダイアログボックスで**確認**を選択してジョブを実行します。
- 。戻るを選択し、入力した情報を修正します。

戻るを選択すると、1度に1ページずつ戻っていきます。任意のページで**戻る**を選択して前のページに戻ることができます。

- 。キャンセルを選択し、入力した内容を削除してホームページに戻ります。

検索結果で選択したアイテムに対してジョブを実行する

検索結果ページから、まずアイテムを選択し、次にアイテムを実行するジョブを選択します。

Note

これは現在、すべてのタイトルでサポートされています。今後は他の検索も追加される予定です。

?検索結果からセットに?してジョブを実行するには:

1. 検索結果 ページでアイテムを選択し、[作業を実行する] ボタンを選択します。

2. 各ジョブについて、下記の情報が表示されます：

「ジョブを実行 - 実行するジョブを選択」ページの各列

名称	説明
名称	ジョブの名称。
説明	ジョブの説明。
コンテンツタイプ	ジョブが処理対象とするセットの種類は、書籍タイトル、電子タイトル、書誌レコードなどが挙げられます。
タイプ	実行されるリクエストやジョブのタイプ (たとえば、エクスポート、アイテムの移動、リクエストなど)。

3. ジョブを選択し、次へを選択します。設定するパラメータがある場合は、ジョブの実行 - タスクパラメータを入力ページが表示されます。設定すべきパラメータがない場合、ワークフローはこのページをスキップします。必要なパラメータを入力し、次へを選択します。各ジョブの設定に必要なパラメータを確認するには、[手動ジョブとそれに関連するパラメータ](#)を参照してください。
4. ジョブを実行 - レビューと確認ページが表示されます。

「ジョブを実行 - レビューと確認」(例) ページ

5. より説明的なジョブ名を入力して (任意)、デフォルトのジョブ名を置き換えます。入力した名称によって、編集と監視のためにこのジョブを識別します。

Note

- 最後の手順で選択したセット内のメンバー数がこのページに表示されます。この数が、選択したセットに基づいて予想したものと類似していることを確認します。
- API情報セクションの詳細については、[デベロッパーネットワークの資料](#)を参照してください。

6. オプションで、定期的なタスクであるか、1回限りの操作であるかを問わず、マニュアルジョブを実行するスケジュール期間を設定します。スケジュールセクションでは、ジョブを自動的に実行できます。他のジョブは、事前に定義されたジョブスケジューリングオプションを使用してスケジュールを設定できます。

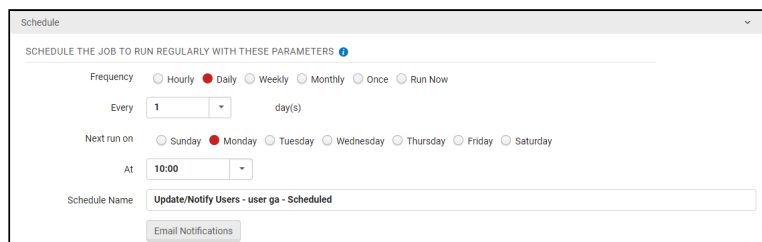
Note

- スケジュールされたジョブは、スケジュールされた時間にできるだけ近い時間に実行されます。
- 手動ジョブをスケジュールする場合、スケジュールされた時間はジョブの実行がトリガーされる時間であ

り、実際の実行は後で開始される場合があります（システムリソースによって異なります）。

- 。 手動でスケジュールされたジョブの表示の詳細については、[スケジュールされた手動ジョブの表示](#)を参照してください。

ジョブの実行後に送信されるEメール通知を設定します（電子メール通知）。詳細については、[スケジュールされたジョブのEメール通知の設定](#)を参照してください。



スケジュールされた手動ジョブ

7. ジョブ情報をレビューし、下記の事項を行います：

- 。 送信を選択し、ダイアログボックスで確認を選択してジョブを実行します。
- 。 戻るを選択し、入力した情報を修正します。

Note

戻るを選択すると、1度に1ページずつ戻っていきます。任意のページで戻るを選択して前のページに戻ることができます。

-
- 。 入力内容を削除してホームページに戻るには、キャンセルを選択します

選択したPO Lineでジョブを実行する

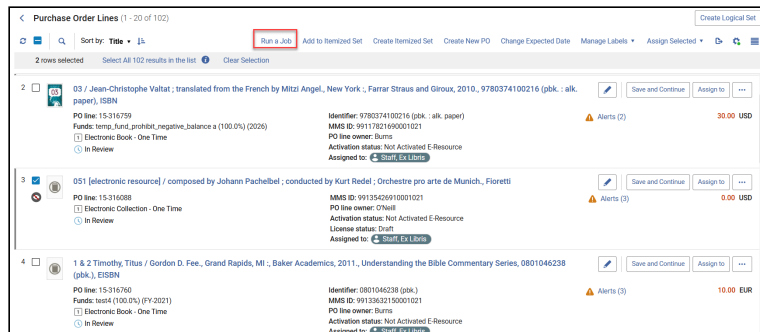
PO lineリストから選択したPO Lineに対してジョブを実行できます。

Note

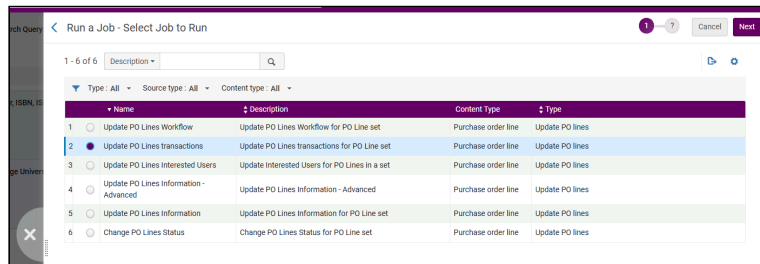
図書館に対してのみ権限を持つユーザー（機関としての権限を持たないユーザー）は、選択したPO lineでジョブを実行できず、[作業を実行する] ボタンは表示されません。

選?したPO lineでジョブを実行するには：

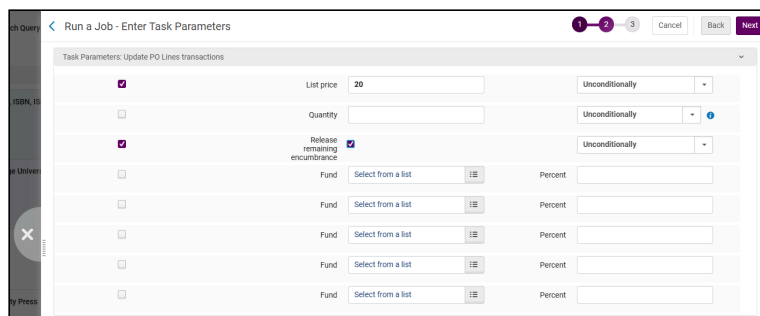
1. PO lineリストから、関連するPO lineを選択し、[作業を実行する] をクリックします。



2. 関連するジョブを選択し、[次へ]をクリックします。



3. タスクパラメータを入力します（「[手動ジョブとその関連パラメータ](#)」）を選択し、[次へ]をクリックします。



4. 必要に応じてジョブ名とスケジュール情報をアップデートします。手動でスケジュールしたジョブの表示の詳細については、「[スケジュール済み手動ジョブの表示](#)」をご参照ください。スケジュール済みジョブの場合（頻度は[今すぐ実行]以外）では、[Eメール通知]を選択することで、ジョブ実行後に送信されるEメール通知を設定できます。詳細については、「[スケジュール済みジョブのEメール通知設定](#)」をご参照ください。また、[API情報セクション]の詳細については、「[開発者ネットワークのドキュメント](#)」をご参照ください。

Task Parameters: Update PO Lines transactions			
Yes	List price	20	Unconditionally
No	Quantity	-	Unconditionally
Yes	Release remaining encumbrance	Yes	Unconditionally
No	Fund	Percent	-
No	Fund	Percent	-

5. ジョブ情報を確認し、[送信]を選択してから[確認]をクリックしてジョブを実行します。[戻る]を選択すると1ページずつ前に戻り、[キャンセル]を選択すると入力内容が削除され、ホームページに戻ります。

手動ジョブとそれに関連するパラメータ

定義済みセットで実行できる手動ジョブのリストを下表で示します。表はコンテンツタイプごとに分かれています。ジョブを実行するには、役割列にある役割を1つ以上持っている必要があります。スタッフが手動で開始できるジョブ（必ずしもセットからではない）については、「[完了したジョブの表示](#)」を参照してください。

Note

出力ファイル名の構造には、エクスポートジョブの安定した ID と、特定の実行の実際のジョブ ID (プロセス ID とも呼ばれます) の両方が含まれます。

BIBLIOGRAPHIC_<Process ID>_<Stable ID for the job>_1 :

コンテンツタイプ別に分類された手動ジョブ:

- [典拠MMS](#)
- [書誌タイトル](#)
- [引用](#)
- [CNインポートコミュニティゾーン](#)
- [コレクション](#)
- [コース](#)
- [デジタルファイル/タイトル](#)
- [電子コレクション](#)
- [外部データソース](#)
- [冊子アイテム/タイトル](#)
- [ポートフォリオ](#)
- [一括公開](#)
- [購入発注明細](#)
- [図書リスト](#)
- [リサーチアセット](#)
- [ユーザー](#)
- [ベンダー](#)
- [多機能](#)

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
<ul style="list-style-type: none"> • CNMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する • 典拠レコードの目録レベルを設定する • UNIMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する 	典拠MMS	<ul style="list-style-type: none"> • CNMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する • 典拠レコードの目録レベルを設定する • UNIMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する 	典拠MMS	<ul style="list-style-type: none"> • CNMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する • 典拠レコードの目録レベルを設定する • UNIMARC 典拠レコードの目録レベルを設定する
ローカルの典拠レコードを削除する	典拠MMS	取り消し	<p>編集がロックされていないローカルの典拠レコードを削除します。削除された典拠レコードから、関連する書誌レコードを切断します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>定義すべきパラメータはありません。</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
典拠レコードをエクスポートする	典拠MMS	エクスポート	<p>ローカルの典拠レコードをエクスポートします。ご使用の環境は、ローカルの典拠の管理をサポートするように設定する必要があることに注意してください。Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。詳細については、メタデータのエクスポートを参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 冊子フォーマット (バイナリまたはXML) • 含まれる典拠のフォーマット • エクスポートされた各ファイルの最大レコード数 • エクスポートフォルダ (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) • FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) • FTPサブディレクトリ 	目録マネージャー、目録アドミニストレーター、目録者
* ユーザー定義の典拠の正規化ジョブ	典拠MMS	MARC21典拠の正規化	Almaは、Droolベースの正規化ルールに基づいて、ローカルで管理されている機関にグローバルな変更を加えるジョブの作成をサポートします。詳細については、 ローカルに管理される典拠レコードに対するグローバルな変更の	目録マネージャー、目録アドミニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
		UNIMARC典拠 の正規化 CNMARC典拠 の正規化 GND典拠の正 規化	実行 を参照してください。 パラメータ： Droolsベースの正規化ルールを選択します。	一ター

書誌タイトル

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
書誌をコレクションに追加する	書誌事項 タイトル	MARC21書誌の 正規化	MARCレコードの787フィールドの値に従って、インポートされたタイトルをコレクションに割り当てます。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
リマインダーを追加	書誌事項 タイトル	メタデータ管理	書誌レコードにリマインダーを追加します。詳細については、 リマインダーの操作 を参照してください。このジョブレポートについては、「 「リマインダーを追加」のジョブレポート 」を参照してください。	目録者、目録者 (拡張)
コレクションにタイトルを追加する	書誌 タイトル	情報更新	セットのタイトルをコレクションに追加する パラメータ： <ul style="list-style-type: none"> コレクション-タイトルを追加したいコレクションを選択します。 既存のコレクションからの割り当て解除-現在属しているコレクショ 	コレクション目録オペレーター (機関レベルの範囲)

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>ンからタイトルを削除する場合に選択します。</p>	
<p>書誌レコードを削除する</p>	<p>書誌事項タイトル</p>	<p>取り消し</p>	<p>書誌レコードを削除します。書誌レコードを削除するセットを参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>注文明細が関連付けられている書誌レコードは削除されません。</p> <p>ダウンロードできるExcelファイルが、注文明細のあるレコードを識別します。</p>  <hr/> <p>パラメータ：</p> <p>削除するかどうかを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のレコードに関連するレコード すべての関連目録資料 <p>ジョブレポートで結果を表示できます：</p>  <p>「処理されたレコード」カウンターは、削除されたレコードを含む、セットの実際のメンバー数を反映します。「削除された書誌レコードの数」カウンターは、アクティブでジョブによって削除されたレコードのみを反映します。したがって、「処理されたレコード」が「削除された書誌レコードの数」より大きく、他のカウンターがゼロの場合、これはセットに削除されたレコードが含まれていることを意味します。</p>	<p>目録マネージャー、目録アドミニストレーター</p>

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
書誌レコードを エクスポートする	書誌 事項 タイトル	エクスポート	<p>書誌レコードやメタデータのレコードを、ユーザーのPCまたはFTPサイトにエクスポートします。Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。</p> <p>出力ファイル名の構造には、エクスポートジョブの安定したIDと、特定の実行の実際のジョブ ID (プロセス ID とも呼ばれます) の両方が含まれます。</p> <p>例えば BIBLIOGRAPHIC_<Process ID>_<Stable ID for the job>_1 :</p> <p>BIBLIOGRAPHIC_313446164310001831_313446164290001831_1</p> <p>パラメータ :</p> <ul style="list-style-type: none"> 冊子フォーマット (バイナリまたはXML) 出力フォーマット - 複数のアクティブなレジストリがある場合、このエクスポートに適した出力フォーマットを選択します。さらに、Almaでサポートされている次の出力フォーマットのいずれかを選択することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> BIBFRAME 書誌 RDA/RDF <p>次の例を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エクスポートするセットにUNIMARCレコードが含まれていて、出力形式としてMARC21を選択した場合、AlmaはレコードをMARC21形式に変換します。 エクスポートするセットにUNIMARCとMARC21の書誌レコードの組み合わせが含まれていて、出力形式としてMARC21を選択した場合、AlmaはUNIMARCレコードをMARC21形式に変換します。 <ul style="list-style-type: none"> ファイル内のレコード数 ルーチンを拡張します (現在は保有情報の追加のみをサポートしています)。これは、スタンドアロンの機関またはネットワークのメンバー (ネットワークゾーンではない) にのみ関係することに注意してください。 エクスポートフォルダ (プライベートまたは機関 ; エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) 	目録マネージャー、 目録アドミニストレータ、 目録者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) サブディレクトリ <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> セット内の削除されたレコードは、エクスポートされた結果に表示されません。 電子タイトルが公開され、対象セット内でコレクション名またはコレクションIDが直接参照されている場合には、電子コレクションの説明レコードもエクスポートされます。 	
既存の書誌から表現物を生成する	書誌事項タイトル	移行	<p>書誌レコードの856 \$uフィールドにあるURLに基づいて、表現物とその目録を作成します。1つの表現物のみが作成されます。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用タイプ - プライマリ、または派生物 図書館 - 作成された表現物を所有する図書館。 フィールド/サブフィールドからアクセス権を抽出する - 表現物に割り当てるアクセス権ポリシー名を抽出するフィールドとサブフィールド。この情報がレコードで利用できない場合、またはこのプロファイルによって作成されたすべての表現物に同じポリシーが割り当てられる場合は、「デフォルトのアクセス権ポリシー」フィールドを使用します。 デフォルトのアクセス権ポリシー - メタデータレコードにアクセス権ポリシーへの参照がない場合のデフォルトのアクセス権ポリシー。これらを設定するには、デジタルオブジェクトに対するアクセス権ポリシーの設定を参照してください。 フィールド/サブフィールドからラベルを抽出 - 表現物ラベルをそこから抽出するフィールドとサブフィールド。 フィールド/サブフィールドからメモを抽出 - 表現物の内部メモをそこから抽出するフィールドとサブフィールド (繰り返し可能)。 フィールド/サブフィールドから公開メモを抽出 - 表現物の公開メモをそこから抽出するフィールドとサブフィールド。表現物の公開メモ 	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ (拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>は、「見る」サービスページに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HTTPリクエストヘッダーの追加 <ul style="list-style-type: none"> – 下記のアクセス権制限がある配信URLから表現物を作成する際、HTTPリクエストにヘッダーを追加します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ IP制限 <ul style="list-style-type: none"> ▪ ヘッダー – X-Forwarded-For ▪ 値 – IPアドレス ◦ 認証 <ul style="list-style-type: none"> ▪ ヘッダー – 認証 ▪ 値 – 認証資格情報 <p>例： X-Forwarded-For = 95.172.90.171を追加します</p>  <ul style="list-style-type: none"> • 除外ルールの追加 – 応答ヘッダー情報に基づいて、無関係なファイルを除外する場合には選択します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ ヘッダー – コンテンツタイプやコンテンツの長さを選択します ◦ オペレーター – オペレーターを選択します ◦ 値 – ファイルを除外する値を選択します • 除外ルールの追加 – 応答ヘッダー情報に基づいて、無関係なファイルを除外する場合には選択します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ フィールド – コンテンツタイプ、コンテンツの長さ、ファイルURLパターンを選択します 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職														
			<ul style="list-style-type: none"> 。 オペレーター - オペレータを選択します 。 値 - ファイルを除外する値を選択します 															
ネットワークで使用されていないレコードを識別する	書誌事項タイトル	メタデータ管理	<p>使用されていない書誌レコードを識別します。「未使用」の内容を識別するため、パラメータに従って、タイトルセット (すべてのタイトル、冊子タイトル、電子タイトル、および/またはデジタルタイトル) および追加の基準を選択します。識別されたレコードは新しいセットに配置されます。</p> <p>このジョブは、ネットワークゾーンから実行する必要があります。</p> <p>パラメータ：</p> <p>出力セット名 - 作成すべき新しいセット (未使用のレコードを含む) の名称。</p> <p>残りのパラメータについては、選択された基準のすべて (ユニオン) に一致する入力セットのすべてのレコードが出力セットに含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在庫のないレコード (常に選択されているため、チェックボックスは表示されません)。 ・ コレクションと関連付けられていないレコード ・ 注文明細に関連付けられていないレコード ・ リソースリクエストが存在しないレコード ・ リソースシェア ILL (受付) の存在しないレコード ・ 図書リスト引用の存在しないレコード ・ 「含む」タイプの関係の一部ではないレコード (「一部となる」タイプの関係には適用されません) - 他のレコードに結び付けられていないレコード；冊子目録のために関連レコードを設定するを参照してください。関連レコードについて、下記のフィールドが確認されます (「含む」のみ)： <table border="1" data-bbox="618 1549 912 1902"> <thead> <tr> <th>UNIMARC</th> <th>MARC 21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>461 \$1001</td> <td>773 w</td> </tr> <tr> <td>461 \$1001\$a</td> <td>773 x</td> </tr> <tr> <td>461 \$1001\$a</td> <td>773 z</td> </tr> <tr> <td>462 \$1001</td> <td>774 x</td> </tr> <tr> <td>463 \$1001</td> <td>774 w</td> </tr> <tr> <td>464 \$1001</td> <td>774 z</td> </tr> </tbody> </table>	UNIMARC	MARC 21	461 \$1001	773 w	461 \$1001\$a	773 x	461 \$1001\$a	773 z	462 \$1001	774 x	463 \$1001	774 w	464 \$1001	774 z	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
UNIMARC	MARC 21																	
461 \$1001	773 w																	
461 \$1001\$a	773 x																	
461 \$1001\$a	773 z																	
462 \$1001	774 x																	
463 \$1001	774 w																	
464 \$1001	774 z																	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職																										
			<table border="1" data-bbox="618 577 912 1358"> <tr><td></td><td>777 w</td></tr> <tr><td>423 \$1001\$a</td><td>777 x</td></tr> <tr><td></td><td>786 w</td></tr> <tr><td></td><td>800 w</td></tr> <tr><td></td><td>800 x</td></tr> <tr><td></td><td>810 w</td></tr> <tr><td></td><td>810 x</td></tr> <tr><td></td><td>811 w</td></tr> <tr><td></td><td>811 x</td></tr> <tr><td></td><td>830 w</td></tr> <tr><td></td><td>830 x</td></tr> <tr><td></td><td>786 z</td></tr> <tr><td></td><td>786 x</td></tr> </table>		777 w	423 \$1001\$a	777 x		786 w		800 w		800 x		810 w		810 x		811 w		811 x		830 w		830 x		786 z		786 x	
	777 w																													
423 \$1001\$a	777 x																													
	786 w																													
	800 w																													
	800 x																													
	810 w																													
	810 x																													
	811 w																													
	811 x																													
	830 w																													
	830 x																													
	786 z																													
	786 x																													
要約レベルの識別	書誌事項タイトル	管理タグ	レコードの要約レベルを計算します。詳細については、 簡易レコードレベルの操作 を参照してください。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター																										
管理タグの設定	書誌タイトル	管理タグ	<p>MMSレコードの管理タグを更新します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開または配信からのレコードの抑制 – 書誌レコードがエンドユーザーの検出システムに公開されないように除外します。 外部検索からのレコードの抑制 – 外部検索から書誌レコードを除外します。 OCLCと同期する – レコードを外部目録に公開するかどうかをマーク 	目録マネージャー、目録アドミニストレーター																										

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Libraries Australiaと同期するーレコードをLibraries Australiaに公開するかどうかをマークします。 <hr/> <p>Note</p> <p>ネットワークゾーンジョブの直後に機関ゾーンジョブをすぐに実行すると、インデックス作成で衝突を引き起こします。そのため、機関ゾーンのジョブとネットワークゾーンのジョブの実行間隔を、数時間空けることをお勧めします。</p>	
レコードのセットをネットワークゾーンへリンクする	書誌事項タイトル	メタデータ管理	<p>ローカルレコードをネットワークゾーンのレコードにリンクします。ローカルおよびネットワークゾーンの書誌レコードのコピーやリンクを参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ジョブがネットワーク内で一致するレコードを見つけたが、このネットワークレコードがコミュニティにリンクされている場合、機関レコードはコミュニティレコードにリンクされています。新しいネットワークレコードは作成されません。</p> <hr/> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 逐次刊行物と逐次刊行物以外の一致方法ーレコードの一致を実行するには、一致方法を1つ選択します。下記の一致パラメータとオプションを参照してください。すべてのレコードをネットワークゾーンに提供するには、これらのパラメータを空欄のままにします。 	目録マネージャー、目録アドミニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職						
			<p style="text-align: center;">逐次刊行物と逐次刊行物以外の一致パラメータ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="618 653 751 795">パラメータ</th> <th data-bbox="751 653 1310 795">オプション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="618 795 751 1535">逐次刊行物の一致方法</td> <td data-bbox="751 795 1310 1535"> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISSN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISSN / 024 / 035一致方法 ◦ ISSN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 ◦ ISSN一致方法 ◦ LCCN逐次刊行物一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="618 1535 751 1942">逐次刊行物以外の一致方法</td> <td data-bbox="751 1535 1310 1942"> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISBN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISBN / 024 / 035一致方法 ◦ ISBN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	オプション	逐次刊行物の一致方法	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISSN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISSN / 024 / 035一致方法 ◦ ISSN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 ◦ ISSN一致方法 ◦ LCCN逐次刊行物一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 	逐次刊行物以外の一致方法	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISBN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISBN / 024 / 035一致方法 ◦ ISBN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 	
パラメータ	オプション									
逐次刊行物の一致方法	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISSN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISSN / 024 / 035一致方法 ◦ ISSN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 ◦ ISSN一致方法 ◦ LCCN逐次刊行物一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 									
逐次刊行物以外の一致方法	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 024 / 035一致方法 ◦ 001 To MMS_ID一致方法 ◦ ISBN一致方法 (サブフィールドの完全一致) ◦ ISBN / 024 / 035一致方法 ◦ ISBN (サブフィールドの完全一致) / 024 / 035一致方法 ◦ 重複のないOCLC識別子の一致方法 									

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職				
			<table border="1" data-bbox="618 577 1310 1106"> <thead> <tr> <th data-bbox="618 577 751 720">パラメータ</th> <th data-bbox="751 577 1310 720">オプション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="618 720 751 1106"></td> <td data-bbox="751 720 1310 1106"> <ul style="list-style-type: none"> ◦ ISBN一致方法 ◦ LCCN一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 </td> </tr> </tbody> </table> <p>これらの一致パラメータとオプションは、インポートに使用されるものと類似しています。詳細については、一致方法 - 説明と例を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一致時にリソースタイプを無視する - このオプションを使うと、リソースタイプを考慮することなく、レコードセットの一致が可能になります (つまり、逐次刊行物の一致方法と逐次刊行物以外の一致方法のパラメータを無視できます)。 • IZレコードの提供 - このパラメータを選択して、一致しないレコードのみを提供します。一致を実行していない場合は、このパラメータを選択する必要があります;すべてのレコードはネットワークゾーンに提供されます。 <hr/> <p>Note</p> <p>レコードが NZ に提供される場合、発信元システムと発信元システム ID も NZ でチェックされます。</p>	パラメータ	オプション		<ul style="list-style-type: none"> ◦ ISBN一致方法 ◦ LCCN一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 	
パラメータ	オプション							
	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ISBN一致方法 ◦ LCCN一致方法 ◦ 035 (その他のシステム識別子) 一致方法 <p>このオプションを選択すると、レコードを一致させる接頭語 (システム識別子パラメータで) を指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 逐次刊行物ファジー一致方法 							
<ul style="list-style-type: none"> • MARC21 書誌の初期正規化 	書誌事	<ul style="list-style-type: none"> • MARC21 書誌の正規化 	<p>書誌レコードのセットに対して正規化タスクのセットを実行します。目録の設定を参照してください。</p> <p>(目録を設定する場合、このジョブはインポートプロファイルを使用してイ</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター				

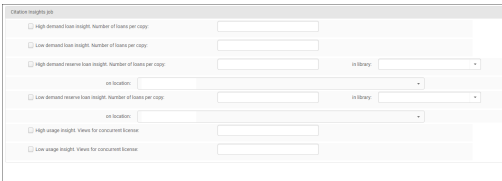
名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
<ul style="list-style-type: none"> UNIMARC 書誌の初期正規化 	項タイトル	<ul style="list-style-type: none"> UNIMARC 書誌正規化 	<p>ンポートされたレコードについて実行されます。)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌正規化 (保存時) CNMARC 書誌正規化 (保存時) KORMARC 書誌正規化 (保存時) UNIMARC 書誌正規化 (保存時) 	書誌事項タイトル	<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の正規化 CNMARC 書誌正規化 KORMARC 書誌正規化 UNIMARC 書誌正規化 	<p>書誌レコードのセットに対して正規化タスクのセットを実行します。目録の設定を参照してください。</p> <p>(目録を設定する際、このジョブはレコードが保存される時に実行されます。)</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の並べ直し CNMARC 書誌の並べ直し KORMARC 書誌の並べ直し UNIMARC 書誌の並べ直し 	書誌事項タイトル	<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の正規化 CNMARC 書誌正規化 KORMARC 書誌正規化 UNIMARC 書誌正規化 	<p>書誌レコードのセットに対して正規化タスクのセットを実行します。目録の設定を参照してください。</p> <p>(目録を設定する場合、このジョブはレコードの並べ直し時に実行されます。)</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の並べ直し 	書誌	<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の正規化 	<p>書誌レコードのセットに対して正規化タスクのセットを実行します。目録の設定を参照してください。</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
<p>しおよび空欄フィールドのクリア</p> <ul style="list-style-type: none"> • CNMARC 書誌の並べ直しおよび空欄フィールドのクリア • KORMARC 書誌の並べ直しおよび空欄フィールドのクリア • UNIMARC 書誌の並べ直しおよび空欄フィールドのクリア 	事項タイトル	<ul style="list-style-type: none"> • CNMARC 書誌正規化 • KORMARC 書誌正規化 • UNIMARC 書誌正規化 	(目録を設定する場合、レコードを並べ直し空欄フィールドをクリアする際にこのジョブが実行されます。)	ニストレーター
ディスカバリーにおいてFRBRやDedupを防ぐ	書誌事項タイトル	ディスカバリー管理	書誌レコードのセットにおいて、FRBRやDedupプロセスを有効または無効にします。	ディスカバリー-管理
ローカルリソースタイプの再計算ジョブ	書誌事項タイトル	ディスカバリー管理	予定された再インデックス作成を待ちたくない場合は、レコードをPrimo VEにプッシュします。ローカルリソースタイプは、ローカルリソースタイプのページで定義されたローカルリソースタイプ (Primo VEのローカルリソースタイプを設定する 参照) に基づいて、書誌レコードの指定されたセットについて再計算されます。	ディスカバリー-管理
コレクションからタイトルを削	書誌	情報更新	コレクションから セットのタイトルを削除する	コレクション目

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
除する	タイトル		パラメータ： <ul style="list-style-type: none"> コレクションタイトルをそこから削除したいコレクションを選択します。 	録オペレータ (機関レベルの範囲)
ベンダーデータ856を削除する	書誌事項タイトル	MARC21書誌の正規化	ベンダーデータ856フィールドを削除します。 MDエディターの[ルール]タブ > [正規化]サブタブ > [共有]セクションのdrools/remove856.dslルールを参照してください。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
<ul style="list-style-type: none"> 書誌レコードの目録レベルを設定する CNMARC書誌レコードの目録レベルを設定する KORMARC書誌レコードの目録レベルを設定する UNIMARC書誌レコードの目録レベルを設定する 	書誌事項タイトル	<ul style="list-style-type: none"> MARC21書誌の正規化 CNMARC書誌正規化 Kormarc書誌正規化 UNIMARC書誌正規化 	目録レベルを書誌レコードに割り当てます。 パラメータ： レコードの目録レベルを選択します。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
ディスカバリーから書誌レコー	書誌	MARC21書誌の正規化	書誌レコードをディスカバリー（Primo、CDI、およびGoogleScholar）から除外または表示可能としてマークします。	目録マネージャー、目録アドミ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
ドを除外する	事項 タイトル		パラメータ： ディスカバリーから除外するかどうかを選択します。	ニストレーター
ディスカバリー DCから書誌レ コードを抑制す る	書誌 タイト ル	認定されたDC 正規化	DC書誌レコードをディスカバリー(Primo、CDI、およびGoogleScholar)から除外または表示可能としてマークします。 パラメータ： ディスカバリーから除外するかどうかを選択します。	目録マネージャ ー、目録アドミ ニストレーター
ディスカバリー DCAP01から書 誌レコードを抑 制する	書誌 タイト ル	DCアプリケー ションプロファ イル1正規化	DCAP01書誌レコードをディスカバリー(Primo、CDI、およびGoogleScholar)から除外または表示可能としてマークします。 パラメータ： ディスカバリーから除外するかどうかを選択します。	目録マネージャ ー、目録アドミ ニストレーター
ディスカバリー DCAP02から書 誌レコードを抑 制する	書誌 タイト ル	DCアプリケー ションプロファ イル2正規化	DCAP02書誌レコードをディスカバリー(Primo、CDI、およびGoogleScholar)から除外または表示可能としてマークします。 パラメータ： ディスカバリーから除外するかどうかを選択します。	目録マネージャ ー、目録アドミ ニストレーター
ディスカバリー MODSから書誌 レコードを抑制 する	書誌 タイト ル	MODS正規化	MODS書誌レコードをディスカバリー(Primo、CDIおよびGoogleScholar)から除外または表示可能としてマークします。 パラメータ： ディスカバリーから除外するかどうかを選択します。	目録マネージャ ー、目録アドミ ニストレーター
書誌レコードを 外部の目録と同 期する	書誌事 項タイ トル	MARC21書誌の 正規化	書誌レコードが外部の目録(OCLC)との同期対象か同期対象でないかをマークします。 パラメータ： レコード(または所蔵のみ)を外部の目録と同期するかどうかを選択します。	目録マネージャ ー、目録アドミ ニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
国有的目録とMMSを同期する	書誌事項タイトル	MARC21書誌の正規化	レコードをLibraries Australiaに公開するかどうかをマークします (Libraries Australiaへ所蔵をアップロードジョブによる) 。詳細については、 Libraries Australiaへの公開 を参照してください。 パラメータ： 書誌レコードを公開するか公開しないかを選択します。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
ネットワークからレコードセットのリンクを解除する	書誌事項タイトル	メタデータ管理	指定されたセット (すべてのタイトル、冊子タイトル、電子タイトル、デジタルタイトル) によって識別される書誌レコードのリンクをネットワークゾーンから解除します。 このジョブはパラメータを必要としません。 ネットワークゾーンからレコードセットのリンクを解除する詳細については、ビデオ ネットワークからレコードセットのリンクを解除する (1分47秒) を参照してください。	目録管理者
典拠レコードから書誌レコードのリンクを解除する	書誌事項タイトル	メタデータ管理	コミュニティゾーンのレコードに許可/リンクされている書誌見出しのリンクを解除して、その後、ローカルな典拠を実装したい機関が、同じ書誌見出しをローカルな典拠レコードに許可/リンクできるようにします。 このジョブはパラメータを必要としません。 <hr/> Note レコードのリンクが解除されている場合、メタデータエディタ (MDE) で開くと、典拠管理ルールに従って典拠が再リンクされます。したがって、MDEでレコードを開くと、これらのレコードに対してリンクジョブを実行するのと同じ効果が得られます。さらに、リンクされていない書誌レコードはACTLログに表示されません。 <hr/>	目録管理者 カタログ マネージャー
*ユーザー定義のMARC21書誌レコード正規化ジョブ	書誌事項タイトル	MARC21書誌の正規化	Almaは、Droolベースの正規化ルールに基づいて、ローカルで管理されている書誌レコードにグローバルな変更を加えるジョブの作成をサポートします。詳細については、 正規化プロセスの操作 を参照してください。 パラメータ： Droolsベースの正規化プロセスを選択します。	目録マネージャー、目録アドミニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
引用 イン サイ ト ジ ョ ブ	引用	イン サ イ ト	<p>リストの引用の使用に関するインサイトを提供します。ジョブはさまざまな指標で使用率が高いまたは低い引用を識別します。これらのインサイトは、コースを受講する学生をサポートするための適切な数のライセンスまたはコピーに関する購入およびライセンス決定を通知するのに役立ちます。</p>  <p>引用インサイトジョブ設定画面</p> <p>ジョブを実行する際、最初に一連の引用を選択します。チェックボックスをオンにすることで、受け取りたい使用状況のインサイトを選択できます。それぞれに、使用率の高低の定義を表す値を入力します。たとえば需要の高い貸出のインサイトの場合、20と入力すると、1コピーあたり20以上の貸出の比率が高い値とみなされ、需要の高いインサイトをトリガーすることを示すために入力することができます。</p> <p>入力する値は整数でなければならず、ゼロ以下の数字は使用できません。</p> <p>使用状況に関するインサイトオプションには次のものがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> 高需要貸出のインサイト：コピーごとの貸出比率が定義された比率以上である物的リソースの引用。 低需要貸出のインサイト：コピーごとの貸出比率が定義された比率以下である物的リソースの引用。 高需要リザーブ貸出のインサイト：コピーごとの貸出比率が定義された比率以上である特定の場所にある物的リソースの引用。 低需要リザーブ貸出のインサイト：コピーごとの貸出比率が定義された比率以下である特定の場所にある物的リソースの引用。 <hr/> <p>Note</p> <p>高需要と低需要のリザーブローンのインサイトについては、含めたい図書館と場所または場所を定義する必要があります。たとえば、特定のリザーブまたは短期ローンの場所にあるアイテムについてのみレポートすることができます。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 高使用率のインサイト：同時のライセンスあたりの使用率が定義された比率以上である電子ポートフォリオの引用。 低使用率のインサイト：同時のライセンスあたりの使用率が定義された比率以下である電子ポートフォリオの引用。 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>Note</p> <p>高使用率と低使用率のインサイトでは、同時利用ユーザーはライセンスセクションにマップされ、Almaのライセンス条項で表示するように設定される必要があります。</p> <p>Almaは、すべてのポートフォリオの同時利用ユーザーライセンス期間が定義されているタイトルのみをチェックします。引用に複数のポートフォリオがあり、1つに同時ユーザー制限がない場合、引用はスキップされます。それ以外の場合、Almaは同時利用ユーザーライセンスあたりの使用率を計算します。</p> <p>すべてのインサイトについて、使用率は引用のコースの開始日と終了日に基づいて計算されます。引用が複数のコースで使用されている場合、計算は最も早い開始日と最も遅い終了日に基づいて行われます。</p> <p>ジョブレポートで結果を表示できます：</p>  <p>引用インサイトジョブレポート</p> <p>個人インサイトを選択して、このインサイトの引用の詳細を表示します：</p>  <p>インサイト引用の詳細の例</p>	

CNインポートコミュニティゾーンメンバー

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
CN/NZメンバーのタスクからCZ	CNインポートコミュニティ	インポート	ネットワークゾーンのメンバーから、コミュニティゾーンにリンクされた電子レコードを収集し、コミュニティゾーンにリンクされたものとしてネットワークゾーンにこれらのレコードを表示します。詳細については、 下記を参照してください ： ローカルおよびネットワークゾーンの書誌レコードのコ	目録マ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
レコードをインポートする	イゾンメンバー (内部)	一ト	ピーヤリンク 、 コミュニティゾン にリンクされた電子レコードの収集、一括公開によってリストされた公開ジョブ。	ネージャー

コレクション

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
セットから論理コレクションを更新する	コレクション	情報更新	<p>設定されたクエリに基づいて、論理コレクションのセットを更新します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> コレクション - このジョブの実行後にコレクションを持たないすべてのデジタルタイトルを配置するためのデフォルトコレクションを選択します。 	デジタル目録オペレータ、コレクション目録オペレータ

コース

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
コースの一括更新	コース	コース	<p>一連のコースに対して次のアクションを実行します：</p> <ul style="list-style-type: none"> コースを削除します。 コース情報（処理および学部、インストラクターなど）を更新します。 すべての図書リストからコースの関連付けを解除します。 コースのアーカイブ/アーカイブ解除。 関連付けられている図書リストを削除します。 <p>パラメータ：</p> <p>コースの削除 - 選択すると、他のすべてのフィールドが非表示になります。コースを削除します。</p> <p>処理部署 - 選択した処理部署セット内のすべてのコースをアップデートします。</p> <p>学科 - セット内のすべてのコースを、選択した学科でアップデートします。</p> <p>学校/学部 - 選択した学校/学部を含むセット内のすべてのコースをアップデートしま</p>	コースリザーマネージャー（機関レベルの範囲）

名称	コンテンツ タイプ(セッ トタイプ)	タ イ プ	説明とパラメータ	役職
			<p>す。</p> <p>期間リスト - 選択した期間リストでセット内のコースを追加します。これにより、既存の期間がアップデートまたは削除されるわけではないことにご注意ください。</p> <p>教員の追加 - 選択した教員をセット内のすべてのコースに追加します。ユーザーが追加されると、インストラクターの役職が自動的に割り当てられます。</p> <p>教員を削除する - セット内のすべてのコースからすべての教 ([すべて]) または特定の教員 ([教員を選択]) を削除します。</p> <p>開始日 - セット内のすべてのコースを、指定された開始日でアップデートします。開始日は終了日より前である必要があります。</p> <p>終了日 - セット内のすべてのコースを、指定された終了日でアップデートします。終了日は開始日より後である必要があります。</p> <p>リストの送信期限 - ドロップダウンオプションを使用し、[リストの送信期限] フィールドに指定された日付を持つセット内のすべてのコースに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールドが空の場合 - [リストの送信期限] による日付が指定されていないコースのみをアップデートします。 • フィールドが空でない場合 - 提出リストによる日付が指定されているコースのみをアップデートします。 • 無条件 - 例外なくすべてのコースをアップデートします。 <p>年度 - ドロップダウン オプションを使用し、年のフィールド内の指定された年のすべてのコースをアップデートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールドが空の場合 - [年度] が指定されていないコースのみをアップデートします。 • フィールドが空でない場合 - [年度] が指定されていないコースのみをアップデートします。 • 無条件 - 例外なくすべてのコースをアップデートします。 <p>チェックボックスが選択されていて、年を空白のままにすると、その年はすべてのコースから削除されます。</p> <p>リストの関連付けを削除する - すべての図書リストからコースの関連付けを解除します。</p> <p>リストなし - セット内のすべてのコースの属性にリストなしを追加または削除します。選択したら、リストなしを追加またはリストなしを削除のいずれかを選択して、すべてのコースに変更を適用します。</p> <p>DCS のコースをアップデート - 図書館員は、Almaコースに合わせてDCS コースを一括アップデートします。</p> <p>Leganto作成リスト - リマインダーEメール - コース用リストを制作するために、教員に通知するEメールを作成します。</p> <p>コースの視認性の設定 - コースをまとめてアーカイブ/アーカイブ解除します。デフォルトでは、オプションは選択されていません。</p>	

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<hr/> <p>Note</p> <p>コースをアーカイブすると、そのコースに関連付けられているすべてのリストもアーカイブされますが、コースをアーカイブ解除してもリストはアーカイブ解除されません。</p> <hr/>	

デジタル

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
サムネイル生成	デジタルファイル	サムネイル	<p>セット内の各デジタルファイルのサムネイルを生成します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 生成 - 生成されたサムネイルは、サムネイルが存在しない場所に追加されます。 生成および上書き - 生成されたサムネイルは、セット内のすべてのファイルに追加されます。すでに存在するサムネイルは、生成されたサムネイルで上書きされます。 デフォルトを使用 - セット内のすべてのファイルのサムネイルが削除され、ファイルタイプのデフォルト画像がサムネイルとして使用されます。 <hr/> <p>Note</p> <p>サムネイルの自動生成は、500MB未満のファイルに制限されています。</p> <hr/>	デジタル目録オペレータ、コレクション目録オペレータ、リポジトリマネージャ
フルテキストを抽出する	デジタルファイル	フルテキスト	<p>ファイルからフルテキストを抽出する</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 提供されたものの上書き - 提供されたフルテキストファイルを、抽出されたフルテキストファイルで上書きします <hr/> <p>Note</p> <p>Alma が画像からフルテキストを適切に抽出するためには、画像ファイルの書誌レコードに正しい言語が示されている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダブリンコアのdc:languageまたはdcterms:languageフィールドの場合、2文字または3文字のコード 008制御フィールドのMARC21の場合、3文字のコード <hr/>	デジタル目録オペレータ、コレクション目録オペレータ、リポジトリマネージャ

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>• MODSのmods:languageフィールドの場合、3文字のコード</p> <p>以下は、フルテキスト生成がサポートされている言語とその言語コードのリストです:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 英語(en / eng) • フランス語(fr / fre) • スペイン語(es / spa) • イタリア語(it / ita) • ドイツ語(de / deu) • ヘブライ語(he / heb) • アラビア語(ar / ara) • ロシア語(ru / rus) • 韓国語(ko / kor) • 中国語(簡体字) (zh / zhu) <p>書誌レコードに言語が示されていない場合、フルテキスト抽出は機関のデフォルト言語に基づいています。</p> <hr/> <p>サポートされているファイル形式の一覧については、「デジタル代表リソースエディタでのデジタルファイルの管理」を参照してください。</p> <p>詳細については、開発者 ネットワーク上のAlmaデジタルリポジトリでのフルテキスト抽出(OCR)を参照してください。</p>	
フルテキストを削除する	デジタルファイル	フルテキスト	<p>フルテキストオブジェクトを削除する</p> <p>パラメータ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 提供されたものを含める - 抽出されたフルテキストファイルに加えて、提供されたフルテキストファイルを削除します 	デジタル目録オペレータ、コレクション目録オペレータ
デジタルタイトルインベントリのダウンロード	デジタルファイル	エクスポート	<p>表現のコンテンツが大きく、ユーザーのコンピュータにダウンロードされるまでに長い時間がかかる場合、ユーザーが表現エディタから全てダウンロードを選択すると、ジョブが実行されます。このジョブは、表現コンテンツをZIPファイルにパッケージ化し、ダウンロード用のリンクを電子メールで送信します。</p> <p>をクリックします。</p>	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ(拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
デジタルタイトルをエクスポートする	デジタルタイトル	エクスポート	<p>ファイルとそのストレージの場所に関する詳細を含むデジタル書誌レコードをエクスポートします。Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。</p>	デジタル目録オペレータ、リポジトリ管理者、リポジトリマネージャー

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
		ト	<p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ターゲットのフォーマット - 下記のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 変換なし - 変換は実行されません ◦ OAI DC - エクスポートされたレコードは、OAI DCフォーマットに変換されます • 含める書誌レコードのフォーマット - エクスポートしたいセット内のレコードのフォーマットを選択します。使用可能なフォーマットは、設定によって異なります。 • ファイル内のレコード数 • エクスポートフォルダ (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) • FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) • FTPサブディレクトリ 	
処理をエクスポートする	デジタルタイトル	エクスポート	<p>生成された処理とともに書誌レコードをエクスポートします。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一般情報 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ファイル内のレコード数 ◦ フォルダにエクスポート (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) ◦ FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) ◦ サブディレクトリ (FTP 設定に対する相対パス) • 認証 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 認証 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 認証なし (デフォルト) - 認証情報は追加されません ▪ パブリック/プライベートキー ▪ シークレットキー ◦ 管理ハンドル - 認証用にエクスポートされたファイルに追加する管理ハンドル ◦ 管理インデックス - 認証用にエクスポートされたファイルに追加する管理インデックス ◦ プライベートキーファイルのパス (パブリック/プライベートキー認証用) ◦ パスフレーズ (パブリック/プライベートキー認証用) ◦ パスワード (シークレットキー認証用) • パラメータ <ul style="list-style-type: none"> ◦ 操作 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 作成 ▪ 追加 ▪ 変更 	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ (拡張)、リポジトリ管理者、リポジトリマネージャー

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> ▪ 除去 ▪ 削除 ◦ 索引を追加 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 索引 - ハンドルに追加する索引 ▪ URL - ハンドルに追加するURL 	
表記情報を更新する	デジタルタイトル	情報更新	<p>デジタルタイトル式の表記情報を更新します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>以下のみに適用セクションで、どの表現物に変更を適用したいかを決定する基準を示します。下記の基準が利用可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモート • アクティブ • リポジトリ名 • 使用タイプ • 図書館 • エンティティタイプ • アクセス権ポリシー (デジタルオブジェクトに対するアクセス権ポリシーの設定を参照してください) • [フィールドの変更]セクションの下にある[著作権]で、表現に加える変更を示すパラメータを選択します。下記のパラメータが使用可能です： <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ/非アクティブ。非アクティブの場合、アクティブな目録のない書誌を表示しないオプションがあり、ジョブの実行後にアクティブな目録がない書誌レコードを表示しないようにできます。 • 使用タイプ • 図書館 • ラベル。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 表現物からラベルを削除するには、空にするを選択します。 ◦ テンプレートに基づいて表現物にラベルを追加する場合は、生成を選択します。詳細については、一般的な表現用の表現物ラベルテンプレートの構成を参照してください。 <p>このフィールドの条件は選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 公開メモ。このフィールドの条件は選択できます。 • エンティティタイプ • アクセス権ポリシー • 著作権 • リンキング パラメータ 1-5 • メモを追加 	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ(拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現物を処理するには、以下のみに適用パラメータのすべてが一致する必要があります。 ラベルと公開メモフィールドでは、条件ドロップダウンリストが利用可能です。条件が適用されない場合、この特定のフィールドの変更のみが無視され、残りのフィールドは変更されます。 公開メモフィールドを選択して空欄にすることで、公開メモを削除できます。 	
レコードDCアプリケーションプロファイルを変更する	デジタルタイトル	メタデータ管理	<p>DCMIレコードのスキーマを変更します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> レコードプロファイルの変更先スキーマを変更するDCアプリケーションプロファイルを選択します。 データ使用を修正-正規化プロセスを選択します。 	一般システム管理者
デジタルタイトルインベントリのダウンロードジョブ	デジタルタイトル	エクスポート	<p>デジタルタイトルのデジタルインベントリをダウンロードする</p> <p>パラメータ：</p> <p>以下のみに適用セクションで、どの表現物に変更を適用したいかを決定する基準を示します。下記の基準が利用可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> アクティブ 使用タイプ 図書館 エンティティタイプ アクセス権ポリシー (デジタルオブジェクトに対するアクセス権ポリシーの設定を参照してください) ラベル-正規表現を入力します <p>Note</p> <p>ダウンロード電子タイトル目録ジョブは、最大3GBまたは2Kファイルのセットに制限されます。大きなファイルではセットを分割してから、ジョブを実行することをお勧めします。</p>	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ(拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
メディア変換	デジタルタイトル	移行	<p>ビデオおよびオーディオファイルをMPEG-4またはストリーミングフォーマットに変換します</p> <p>パラメータ：</p> <p>以下のみに適用セクションで、どの表現物に変更を適用したいかを決定する基準を示します</p>	デジタル目録オペレータ、デジタル目録オペレータ(拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>す。下記の基準が利用可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • 使用タイプ • 図書館 • エンティティタイプ • アクセス権ポリシー (デジタルオブジェクトに対するアクセス権ポリシーの設定を参照してください) • ラベル - 正規表現を入力します <p>処理セクションでは、下記のオプションを使用できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 元の表現物 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 変更なし ◦ 無効化 ◦ 削除 • 出力フォーマット <ul style="list-style-type: none"> ◦ HTTPライブストリーミング (HLS) ◦ MPEG-4 <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ HLS形式に変換すると、元のファイルの約10倍のサイズのファイルが生成されます。これは、ストレージの計算で考慮に入れる必要があります。 ◦ MPEG-4形式に変換するときに、元の形式にキャプションファイル (.vttファイル) が関連付けられている場合、キャプションファイルは新しい形式で保持されます。 <hr/> <p>ターゲット表現物セクションで、新しい表現物の基準を示します。選択されていない基準は、出典の表現物からコピーされます。下記の基準が利用可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • 使用タイプ • 図書館 • アクセス権ポリシー (デジタルオブジェクトに対するアクセス権ポリシーの設定を参照してください) • ラベル • 公開メモ • メモ 	
リモート表現物の移行	デジタルタイプ	移行	リモートデジタル管理システムからAlmaに表現物を移行します。	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ 説明とパラメータ	役職
	トル	<p>リモート表現物が参照するファイルをインポートすることで、リモート表現物からAlma表現物を作成します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルソース - リモート表現物のファイルのダイレクトURL。オープンかつダウンロード可能である必要があります。表現物を配信するURLを使用するには、URLの配信を選択します。また、別のURLテンプレートを構築するには、他のURLを選択し、表現物のリンクパラメータを使用します。 • HTTPリクエストヘッダーの追加 - 下記のアクセス権制限があるリモートリポジトリから表現物を作成する際、HTTPリクエストにヘッダーを追加します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ IP制限 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 名前 - X-Forwarded-For ▪ 値 - IPアドレス ◦ 認証 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 名前 - 承認 ▪ 値 - <ul style="list-style-type: none"> ▪ 認証タイプ(たとえば、基本) ▪ および資格情報：(username:passwordはBase64でエンコードされます。例えば、aladdin:opensesameはYWxhZGRpbjpvvcGVuc2VzYW11にエンコードされます) <p>したがって、値の例は次のとおりです：Basic YWxhZGRpbjpvvcGVuc2VzYW11</p> • 除外ルールの追加 - 応答ヘッダー情報に基づいて、無関係なファイルを除外する場合に選択します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 名前 - コンテンツタイプやコンテンツの長さを選択します ◦ オペレーター - オペレーターを選択します ◦ 値 - ファイルを除外する値を選択します • 表現物ソースID - 表現物のソースID • ファイルソースID - ファイルのソースID • アクセス権ポリシー - Almaの表現物に適用するアクセス権ポリシーを選択します • メモ - Almaの表現物に対するメモを入力します <p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Almaの各表現物は、ソースのリモート表現物と同じ図書館に作成されます。ソースのリモート表記と同じラベルを持ち、プライマリの使用タイプを持つことになります。 • このジョブは、リモート表現物を削除しません。削除は、「デジタル表現物を取り消す」ジョブを使用して個別に実行できます。 • このジョブは、5分以内に各ファイルをダウンロードできる必要があります。大きなフ 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>ファイルをダウンロードしないようにしてジョブの時間を短縮するには、上記の除外オプションを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このジョブは空の表現物を作成しません。ファイルが除外されるか、ジョブがファイルのダウンロードに失敗した場合、表現物は作成されません。これは、ジョブレポートに反映されます。 標準のHTTPリダイレクトがサポートされています。 	
デジタル表現物を取り消す	デジタルタイプ	取り消し	<p>リモートおよびローカルのデジタルオブジェクトを削除します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のみに適用 <p>セットメンバーについて実行するジョブを下記のパラメータに従って制限できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> リモート アクティブ リポジトリ名 使用タイプ 図書館 エンティティタイプ アクセス権ポリシー ラベル <ul style="list-style-type: none"> 目録のない書誌レコードの処理 <p>書誌レコードを削除するか、公開をさせないか、何もしないかを選択します。デフォルトでは、オブジェクトを削除するかどうかにかかわらず、書誌レコードはリポジトリにそのまま残ります。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>機関ゾーンで書誌レコードを削除し、それを保持するコンソーシアムの最後の図書館である場合、そのレコードはネットワークゾーンで自動的に削除されます。ネットワークゾーンで自動的に削除されないようにするには、delete_nz_bib_without_inventory顧客パラメータ（[構成] > [リソース] > [一般] > [その他の設定]）をfalseに設定します（その他の設定を構成する（リソース管理）を参照してください）。</p> <hr/>	デジタル目録オペレーター (拡張)、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

電子コレクション

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
電子ポートフォリオ情報を移動する	電子コレクション	情報更新	<p>電子コレクションのセット内の既存のポートフォリオの注文明細やライセンスを、ターゲットとなる電子コレクション内の新しいポートフォリオに移動します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>ステップ1</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子ポートフォリオ情報を移動するジョブを選択します。 <p>ステップ2</p> <ul style="list-style-type: none"> そのポートフォリオ注文明細がステップ3で選択したターゲットのセットに移動される電子コレクションのセットを選択します。 <p>ステップ3</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲットの電子コレクション - 電子コレクションの検索ウィンドウを表示するには、リストアイコンを選択します。検索条件を入力して、ステップ2で特定したソースセットから注文明細を移動すべきポートフォリオを含むターゲット電子コレクションを見つけます。検索結果から、ターゲットとなる電子コレクションを選択します。 注文明細の移動 - ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオに注文明細を移動するには、このチェックボックスを選択します。追加のオプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 移動 - 選択すると、主要注文明細または主要注文明細と追加注文明細に移動します。 注文明細アクセスプロバイダの設定 - アクセスプロバイダを指定するには、このオプションを選択します。 アクセスプロバイダの選択 - 注文明細アクセスプロバイダの設定を選択した場合、アクセスプロバイダのリストを検索するには、パラメータアクセスプロバイダの選択を使用します。 注文明細にすでにアクセスプロバイダがある場合 - 注文明細アクセスプロバイダの設定を選択し、ターゲット電子コレクションのターゲット注文明細にすでに定義されたアクセスプロバイダがある場合、上書きを選択し、新しく指定したプロバイダで既存のアクセスプロバイダを上書きするか、スキップを選択し、既存のアクセスプロバイダを維持します。 ライセンスを移動する - ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオにライセンスを移動するには、このチェックボックスを選択します。追加のオプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 移動先にすでにライセンスがある場合 - ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオにライセンスを移動するには、上書きを選択します。ターゲットである電子コレクションのポートフォリオですすでに指定されたライセンスを維持するには、スキップを選択します。 過去のライセンスを移動する - ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオに過去のライセンスを追加で移動するには、このチェックボ 	電子目録オペレータ、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>ックスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開 アクセスモデルの移動—ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオに公開 アクセスモデル情報を移動するには、このチェックボックスを選択します。追加のオプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ソースである電子コレクションのポートフォリオから、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオに公開アクセスモデルを移動するには、上書きを選択します。ターゲットである電子コレクションのポートフォリオですすでに指定された公開アクセスモデルを維持するには、スキップを選択します。 <p>パラメータを1つ (注文明細の移動またはライセンスの移動) 選択する必要があります。どちらのオプションも選択せずに、次のステップに向けて次を選択した場合、エラーメッセージが表示されます。チェックボックスの各パラメータにラジオボタンのオプションが表示される場合、これらのオプションを1つ選択する必要があります；選択せずに、次のステップに向けて次を選択した場合、エラーメッセージが表示されます。</p> <p>ステップ4</p> <ul style="list-style-type: none"> パラメータの選択を確認し、送信を選択します。ジョブを継続したいことを確認するメッセージが表示されます。「ジョブの監視」でジョブが完了したことが示されたら、結果のジョブリポートを参照してください。このジョブリポートの詳細については、「電子ポートフォリオ情報を移動する」ジョブリポートを参照してください。 <p>電子ポートフォリオ情報を移動するジョブを実行すると、ターゲットである電子コレクションのポートフォリオと、ソースである電子コレクションセットのポートフォリオとの一致を確認します。ソースのポートフォリオ（選択したジョブのパラメータに応じて移動する注文明細やライセンス）とターゲットのポートフォリオが次のいずれかを共有している場合に、一致していると判断されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ書誌レコード ISSN e-ISSN ISBN e-ISBN <hr/> <p>Note</p> <p>コミュニティゾーンにリンクされたコレクションを操作する場合、一致を決定するパラメータは、ポートフォリオがコミュニティゾーンに見つからず、ローカルポートフォリオを作成する場合にのみ関連します。コミュニティゾーンでポートフォリオが見つかった場合、一致パラメータは関係ありません。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このジョブは、単純な使用事例 (単一のソースポートフォリオが、同じ書誌レコードにリンクされた単一の宛先ポートフォリオと一致する事例) のみを処理します。異なる注文明細と単一のターゲットポートフ</p>	

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>オリオを持つ2つ以上のソースポートフォリオがあり、これらが同じ書誌レコードを共有している場合、これらの状況はスキップされ、ジョブリポートで特定されます。これは、1つの注文明細を持つ単一のソースポートフォリオが、同じ書誌レコードを共有する2つのターゲットポートフォリオと一致する使用事例にも当てはまります。これらの状況はスキップされ、ジョブリポートで認識されます。「電子ポートフォリオ情報を移動する」ジョブリポートを参照してください。</p> <hr/> <p>注文明細の移動パラメータが選択され、ターゲットであるポートフォリオがすでに主要注文明細を有している場合、ソースであるポートフォリオの主要注文明細は、ターゲットであるポートフォリオの追加注文明細リストに移動します。</p> <p>注文明細を移動した後、ソースであるポートフォリオはその注文明細から切断されます；また、ソースであるポートフォリオは、もはやその注文明細を示しません。</p> <p>注文明細アクセスプロバイダの設定パラメータが選択されている場合、選択したベンダーは、ターゲットであるポートフォリオの主要注文明細で更新されます。選択したアクセスプロバイダは、移動される可能性のある追加の注文明細には適用されません。</p> <p>注文明細にアクセスプロバイダがすでにある場合というパラメータが選択されており、上書きオプションが選択されている場合、ソースであるポートフォリオの主要注文明細と、ターゲットであるポートフォリオの主要注文明細(ターゲットに注文明細がすでにある場合)の両方について選択されたアクセスプロバイダが、選択されたアクセスプロバイダによって更新されます。また、ターゲットに主要注文明細がすでにある場合、ソースであるポートフォリオの主要注文明細は、ターゲットであるポートフォリオの追加注文明細に移動します。</p> <p>ライセンスを移動パラメータを選択した場合は、ソースであるポートフォリオのライセンスが、ターゲットであるポートフォリオに移動します。ターゲットであるポートフォリオにすでにライセンスがあり、上書きオプションが選択されている場合、ターゲットであるポートフォリオにおいて置き換えられるライセンスは、過去のライセンスのリストに移動します。過去のライセンスを移動パラメータが選択され、ターゲットであるポートフォリオに過去のライセンスがすでにある場合、ソースであるポートフォリオの過去のライセンスは、ターゲットであるポートフォリオの過去のライセンスのリストに追加されます(置き換えられることはありません)。</p>	
電子収集情報の変更	電子コレクション	情報更新	<p>この新機能により、図書館のスタッフは、専用のジョブを使用して、一連の電子コレクションの属性をバッチで更新できます。</p> <p>図書館のスタッフは、更新する属性と条件を選択できます。</p> <p>この機能は、次のようなさまざまなユースケースで役立ちます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベンダーは、プラットフォームに数時間アクセスできなくなるプラットフォームのメンテナンスを発表します。そのプラットフォーム上のすべてのコレクションに、プラットフォームが利用できないことを示す同じ認証ノートをバッチ適用する必要があります。その後、メンテナンスが終了すると、同じノートをバッチ削除する機能があります。 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>2. ベンダーは、URL構文が変更されたことを発表します。電子コレクションレベルのURLをパッチ変更する必要があります。</p> <p>a. 静的 URLの接頭語を削除または置換 – URLの接頭語を削除・交換します。(例: .COM から .ORG—for example, from .COM to .ORGへ)。交換の際、ローカルURLがすでに存在する場合はローカルフィールドが置き換えられ、存在しない場合は指定されたURLがローカルフィールドに配置されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>Almaは、「電子コレクション情報の変更」で接頭語と接尾辞のパラメータの同時使用を制限しています。両方を変更するには、ジョブを別々に実行する必要があります。</p> <hr/> <p>3. 同じプロキシサーバーを使用するように電子コレクションを更新します。</p> <p>4. 複数の電子コレクションに対して単一ライセンスを更新します。</p> <p>電子コレクション属性のパッチ更新ビデオ (3:02分) をご覧ください。</p>	

外部データソース

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
外部データソースを削除する	外部データソース	ディスカバリー管理	<p>Primo VEの場合、このジョブは指定された外部データソースのレコード（ディスカバリーインポートプロファイルとともに以前ロードされていたもの）を削除します。詳細については、Primo VEの外部データソースの削除を参照してください。</p>	ディスカバリー-管理

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
冊子アイテムのリクエストをキャンセルする	冊子アイテム	リクエスト	<p>冊子アイテムへのオープンリクエストをキャンセルします。</p> <p>パラメータ：</p> <p>必要に応じて、キャンセルの理由とメモを提供します。</p> <p>まだピックアップ段階にあるリクエストのみをキャンセルするかどうか選択します。キャンセルされるのは、キューに入っているリクエストのみです（アイテムが貸し出されていたり、作業指示が出されているため）。すでに置き棚にあるリクエストはキャンセルされません。</p>	フルフィルメントアドミン
貸出を「返却されました」に変更する	冊子アイテム	貸出	<p>アイテムの貸出状況を「返却されました」に更新する。</p> <p>設定すべきパラメータはありません。</p> <p>詳細については、「ユーザーサービスの管理」で請求された返却を参照してください</p>	貸出・返却受付マネージャー、フルフィルメント管理者、リポジトリマネージャー
冊子情報の変更	冊子アイテム	情報更新	<p>冊子アイテムや冊子タイトルのアイテム情報を更新します。</p> <p>アイテムの場所が変わる場合は、別の所蔵レコードにリンクする必要があります。</p> <p>Alma は、更新された場所に一致する既存の所蔵があるかどうかを確認します。もしあれば、アイテムはこの所蔵レコードに移動されます。既存の所蔵が見つからない場合は、新しい所蔵レコードが作成され、アイテムがそれにリンクされます。他のアイテムが添付されていない場合は、古い所蔵レコードは削除されます。</p> <p>他のアイテムがまだ紐付いている場合、古い所蔵レコードおよびそれに関連付けられた PO ラインはそのまま保持されます。削除された所蔵レコードに PO line が添付された場合、PO line はすべての所蔵から切り離されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>逐次刊行物のアイテムを1つの所蔵から別の所蔵に移動する場合、同じ書誌レコードにあるか新しいレ</p> <hr/>	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者、物理在庫オペレータ、物理在庫オペレータ-制限付き

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<hr/> <p>コードにあるかにかかわらず、このアクションは元の注文明細からアイテムを切り離すことができます。これがこの所蔵のもとで最後のアイテムである場合、注文明細に資料がなくなる可能性があります。</p> <hr/> <p>詳細については、冊子アイテムレコードに対するグローバルな変更の実行を参照してください。</p> <p>このジョブを使用して機関レベルのワークオーダータイプを配置および削除する場合、部門にアイテムをスキャンする必要はありません。</p> <p>パラメータ：</p> <p>パラメーターは、[冊子アイテムエディタ] タブで利用可能なオプションに対応しています（アクセスするには、冊子のリポジトリ検索を行い、検索結果リストのアイテムの1つに [編集] を選択します）。詳細については、リポジトリ検索結果とアイテムレベルの情報の更新を参照してください。</p> <p>変更したい各行の先頭にあるチェックボックスを選択します。</p> <p>各パラメータ (場所フィールドを変更パラメータを除く) について、変更を行うかどうかを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無条件 • フィールドが空欄の場合のみ • フィールドが空欄でない場合のみ <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 恒久的な場所は、貸出されたアイテムについても変更できます。 • 一時的な図書館や場所を削除を選択する場合、一時的なアイテムの表示を削除も選択する必要があります；選択しない場合、ジョブレポートでエラーメッセージを受入します。 • アイテムの場所が変更され、新しい所蔵レコードが作成され、古い所蔵にアイテムがなくなった場合、古い所蔵レコードは削除されます；注文明細が古い所蔵に添付されていた場合、その注文明細はどの所蔵からも切り離されます。古い所蔵情報に他のアイテムがある場合、古い所蔵情報とそれに添付された注文明細はそのまま残ります。 • アイテムポリシーフィールドは、アイテムの恒久的な場所に関するアイテムポリシーの変更には使用できますが、アイテムの一時的な場所に関するアイテムポリシーの変更には使用できません。 <hr/>	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<hr/> <ul style="list-style-type: none"> • 処理ステータスが空欄の場合 (パラメータが適切に設定されている場合) や、アイテムが技術的なもの (移行) として定義されている場合にのみ、アイテムは欠落しているものとして更新されます。 • 「メモ」フィールドについて、メモを変更するために無条件またはフィールドが空欄でない場合のみを選択すると、メモの内容は削除され置き換えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ フィールドに追加オプションを使用すると、スペースとセミコロンで区切られた既存のメモに新しいメモを追加できます。これは、これらのアイテムに追加された以前のメモを失うことなく、セット内のすべてのアイテムにメモを追加したい場合に便利です。 • 統計メモを更新する場合、統計メモのオプションの固定ドロップダウンリストの設定については、統計メモの設定 を参照してください。 • 所蔵量852フィールドの指標は、デフォルトの所蔵量テンプレートの設定に従って変更されます。 • プロセスタイプをアイテムに追加する場合、機関レベルの作業指示タイプのみがサポートされます。プロセスタイプに部門を選択する場合、機関全体にサービスを提供する部門のみが利用可能です (OTB AcqWorkOrder タイプを除く 取得と技術サービスでは、特定の図書館にサービスを提供する部門がよく使用されるので選択できます - 部門によってサービスできないアイテムがセットに含まれている場合、プロセスタイプが削除されるまでアイテムエディタでリストにないものとして表示されます)。 • [除去番号] および [除去番号シーケンスを使用] のパラメータは、[恒久ロケーション] で除去シーケンスが設定されたロケーションが選択された場合にのみ、[目録情報の変更] セクションに表示されます。除去シーケンスがすべてのロケーションに適用されている場合、[除去番号] および [除去番号シーケンスを使用] のパラメータはデフォルトで表示されます。 <hr/> <p>[アイテムをホスト図書館にコピーする]チェックボックスが表示され、次の場合に機関間で目録を移動できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソーシアムの購入目録の共同使用がシステムで定義されていて、コンソーシアムのあるメンバーが別のメンバーのためにアイテムを購入する場合に、購入図書館からホスト図書館にアイテムをコピーする場合。 • 書誌レコードがネットワークゾーンレコードである場合に、ある機関から別の機関にアイテムを転送します。 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>Note</p> <p>Almaは、一致する所蔵レコードを探す際、852 \$\$b、\$\$c、\$\$h、および請求番号の種類を比較します。これは [アイテムの編集] で単一アイテムの常設場所を編集する場合とは異なり、852 \$\$b と \$\$c を比較するだけです。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このチェックボックスは、以下の場合にのみ表示されます（詳細は、コンソーシアムにおけるインベントリの共同利用を参照してください）。</p> <ul style="list-style-type: none"> アイテムはネットワークゾーンの書誌レコードに添付されており、 アイテムはリモートの場所、つまり「ホスト場所」としてマークされた物理的な場所に割り当てられます。 <hr/> <p>保持情報：</p> <p>ユーザーはジョブの保持情報のパラメータを適用できます。詳細については、保持情報を参照してください。</p> <p>「棚に戻すためにトランジットを削除する」チェックボックスを選択すると、すべてのアイテムが移動中から棚に戻すに更新されます。</p>	
紛失した貸出資料をクローズする	冊子アイテム	貸出	<p>紛失した貸出資料をクローズします。</p> <p>フルフィルメントセット内の全てのアイテムの貸出がクローズされます (紛失としてマークされていない場合でもクローズされます)。</p> <p>このジョブは、紛失された貸出資料で支払済のものと同未支払のもの両方をクローズしますが、紛失された貸出資料に関連するアイテムは削除しません。貸出資料に関連する罰金や手数料は、ユーザーのレコードに残ります。</p> <p>貸出資料がクローズされた後に返却された場合、「紛失アイテム交換手数料払戻ポリシー」は呼び出されません；返却された貸出資料のクレジットは、ユーザーのレコードに手動で適用する必要があります。</p> <p>このジョブを実行すると、アイテムのプロセスタイプは「行方不明」に変わります。</p>	フルフィルメント管理者、リポトリマネージャー (機関レベルの範囲)

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<hr/> <p>Note</p> <p>close_paid_lost_loanパラメーターがFalseに設定されている場合にのみ、アイテムプロセスタイプが紛失に変更されます。</p> <hr/> <p>パラメータ：</p> <p>設定すべきパラメータはありません。</p>	
冊子アイテムの移動リクエストを作成する	冊子アイテム	情報更新	<p>アイテム情報を更新し、冊子アイテムを新しい場所に移動する輸送プロセスを開始します。アイテムは「棚から選択」リストに表示されないことに注意してください (手動で移動した場合にのみ表示されます)。 通過伝票レター (全文) を送信します。このレターは印刷でき、当のアイテムに添付できます。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新しい図書館 (必須) • 新しい場所 (「新しい図書館」内。必須) • タイプを変更 (恒久的/一時的。必須)。一時的が選択されている場合、追加のフィールドである返却期限日が表示されます。指定した日付に達すると、スケジュールされた リクエスト - 一時的に書架に配置されたアイテムを戻す ジョブが実行されます。 • 新しいアイテムポリシー • 図書館から送付済み • 受付から送付済み • トランジットレターを印刷：トランジットレターを印刷するかどうか 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
冊子アイテムのワークオーダーを作成する	冊子アイテム	リクエスト	<p>冊子アイテムについてワークオーダーリクエストを作成します。</p> <p>このジョブを使用して機関レベルのワークオーダータイプを配置および削除する場合、部門にアイテムをスキャンする必要があります。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークオーダータイプ (必須) • 部署 (必須) • アイテムを棚からピックアップしないとマークするかどうか。 <p>複数アイテムのワークオーダーを作成する方法 のビデオ (5分45秒) をご覧ください。</p>	フルフィルメントアドミン

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
冊子アイテムをエクスポートする	冊子アイテム	エクスポート	<p>タイトルレベルのセットから冊子アイテムをエクスポートします。Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力フォーマット (CSV) エクスポートフォルダ (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) FTPサブディレクトリ <p>エクスポートされたファイルには、次の列が含まれています：</p> <p>MMSレコードID、HOLレコードID、アイテムPID、バーコード、タイトル、出版者、書誌資料タイプ、著者、請求番号、恒久的請求番号、恒久的配架場所、ローカルの配架場所、所蔵タイプ、アイテム資料タイプ、ポリシー、シーケンス番号、時系列、一覧表、発行年、説明、公開メモ、フルフィルメントメモ、目録番号、在庫日、書棚報告番号、配架日、配架順序、最終書棚レポート、一時的図書館、一時的場所、一時的請求番号タイプ、一時的請求番号、一時的アイテムポリシー、別の請求番号タイプ、別の請求番号、ピース、ページ、内部メモ (1)、内部メモ (2)、内部メモ (3)、統計メモ (1)、統計メモ (2)、統計メモ (3)、作成日、変更日、ステータス、プロセスのタイプ、プロセスID、貸出資料の数、最終貸出、機関内貸出資料の数、機関内最終貸出、年初来累計貸出、受入日、コピーID、受入番号、除籍番号、除籍日、(12月の新機能！) その他のシステム番号。</p>	冊子目録オペレータ、受入オペレータ、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
冊子アイテムのラベルをエクスポートする	冊子アイテム	エクスポート	<p>冊子アイテムのラベルを印刷用にエクスポートします。Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力フォーマット (XML) エクスポートフォルダ (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) テンプレート (背表紙ラベルの印刷またはバーコードの印刷を指定するために機関によって構成された00、01、またはその他) (テンプレートを構成するには、表現ラベルテンプレートを参照してください) 	冊子目録オペレータ、受入オペレータ、リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
冊子の説明を再構築する	冊子アイテム	情報更新	<p>一覧表/時系列、アイテムのフォーム、およびルールを含むテンプレートに基づいて説明を生成します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> テンプレートから再構築する 説明を削除 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> • カスタム説明を設定する <ul style="list-style-type: none"> ◦ フィールドが空の場合 ◦ フィールドが空でない場合 ◦ 無条件 	
冊子のタスクを取り消す	冊子アイテム	取り消し	<p>選択した冊子タイトルや冊子アイテムセット内のアイテムが削除の対象であることを確認し (たとえば、貸出中でないか、アクティブな注文明細にリンクされていないかなど)、それらを削除します。詳細については、取り消しを参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記のオプションのいずれかを選択して、アイテムのない所蔵情報に適用します： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 所蔵情報と書誌レコードを保持する ◦ 所蔵情報を削除する；他の所蔵情報を持たない書誌レコードを削除する <hr/> <p>Note</p> <p>機関ゾーンで書誌レコードを削除し、それを保持するコンソーシアムの最後の図書館である場合、そのレコードはネットワークゾーンで自動的に削除されます。ネットワークゾーンで自動的に削除されないようにするには、<code>delete_nz_bib_without_inventory</code>顧客パラメーター ([構成]>[リソース]>[一般]>[その他の設定]) を <code>false</code> に設定します (その他の設定を構成する (リソース管理)を参照してください)。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 所蔵情報を公開しない；他の所蔵情報がない書誌レコードを公開しない ◦ 所蔵情報を削除する；他の所蔵情報がない書誌レコードを公開しない ◦ 所蔵の公開を非表示にし、書誌レコードを保持する ◦ 所蔵を削除し、書誌レコードを保持する <ul style="list-style-type: none"> • アクティブなリクエストのあるアイテムを取り消すかどうかを選択します • 待機中の非アクティブなリクエストがあるアイテムを取り消すかどうかを選択します • ワークオーダーのあるアイテムを取り消すかどうかを選択します <hr/> <p>Note</p> <p>このジョブが冊子タイトルセットについて実行される場合、所蔵情報の保持オプションを選択していても、そのセットにあるアイテムは取り消されます。同じ書誌レコードに異なる図書館で複数の所蔵レコードがあるかどうかは関係ありません。このジョブが冊子アイテムのセットについて実行された場合、セット内の特定のアイテムのみが取り消されます。書誌レコードに異なる図書館の複数の所蔵レコードがあり、各所蔵レコードにアイテムがある場合でも、選択した冊子アイテムセットにあるアイテムのみが取り消されます。他のアイテムは取り消されません。</p>	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>アイテムの取り消しジョブを実行する場合、Almaが確認して、アイテムに未処理の注文があるかどうかを判断します。未処理の注文があるアイテムは、アイテムの取り消しジョブでは取り消されません。未処理の注文があるアイテムは、ジョブレポートのページで管理されていないアイテム数のカウント時に識別され、エラーの特定のタイプを識別する「ジョブレポート」ページのレポートテーブルのセクションにエラーメッセージが表示されます。</p>	
所蔵情報を更新する	冊子アイテム 冊子タイトル	情報更新	<p>冊子アイテムや冊子タイトルの所蔵情報を更新します。詳細については、所蔵レコードのグローバル変更の実行およびその周辺のセクションを参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館/場所のみに適用 - 特定の図書館/場所にあるアイテムのみに変更を適用します。これらのフィールドについては、両方を指定するか、どちらも指定しないか、いずれかが必要です。 書誌レコードから請求番号を更新 - 書誌レコードに保存されている値を使用して請求番号をグローバルに更新するかどうか。 正規化ルールを使用してデータを修正 公開用タグレコード - 外部のディスカバリーシステム (Primoを含む) にレコードを公開するかしないか。 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者
冊子タイトルのリクエストをキャンセルする	冊子タイトル	リクエスト	<p>冊子タイトルへの未処理リクエストをキャンセルします。</p> <p>パラメータ：</p> <p>必要に応じて、キャンセルの理由とメモを提供します。</p>	フルフィルメントアドミン
冊子のない所蔵レコードを削除する	冊子タイトル	取り消し	<p>アイテムのない (および注文明細にリンクされていない) 所蔵レコードを削除します。このジョブは、書誌レコード (冊子タイトル) のセットを使用し、それらの書誌レコードに添付されている所蔵レコードを削除について評価します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館/場所のみに適用 - このジョブについて選択したセットには、異なる図書館と場所からの書誌レコード (および添付された所蔵情報) が含まれる可能性があります。そのため、このパラメータによって、どの図書館のレコードまたは図書館と場所のレコードを削除するかをセット内で識別することができます。 ルールによる所蔵レコードのフィルター - 選択したセット内のレコードをフィルタリングする表示ルールを選ぶには、このオプションを使用します。表示ルールのフィルターに一致するセット内の書誌レコ 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者、冊子目録オペレータ (拡張) (機関レベル範囲あ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>ードに添付された所蔵情報は削除されます。詳細については、表示ルールの操作を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書誌レコードをどう処理するか?—下記のオプションのいずれかを選択して、所蔵やアイテムのない書誌レコードの処理方法を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 何もしない 〔書誌レコードを削除する〕 <p>機関ゾーンで書誌レコードを削除し、それを保持するコンソーシアムの最後の図書館である場合、そのレコードはネットワークゾーンで自動的に削除されます。ネットワークゾーンで自動的に削除されないようにするには、delete_nz_bib_without_inventory顧客パラメーター（[構成]>[リソース]>[一般]>[その他の設定]）をfalseに設定します（その他の設定を構成する（リソース管理）を参照してください）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔書誌レコードを非公開にする〕 <p>アイテムのない所蔵レコードを削除する詳細については、ビデオアイテムのない所蔵レコードの削除 (2分15秒)を参照してください。</p>	り)

ポートフォリオ

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
電子ポートフォリオ	ポートフォリオ	情報更新	<p>電子ポートフォリオのポートフォリオ情報をローカルで更新します。詳細については、ジョブを使用してポートフォリオに対するグローバルな変更を行うを参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> インターフェイス名—ベンダー名 	リポジトリマネージャー、リポジトリ管理者、

名称	コンテンツタイプ(セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
リ オ 情 報 を 変 更 す る			<p>• 図書館 – 複数の電子リソースで一括更新する図書館を指定します（詳細については、電子リソースに設定された図書館を参照）。一部のポートフォリオには既に図書館セットがある場合があります。ジョブで選択された図書館が電子コレクションの図書館と一致しない場合、ジョブはこのポートフォリオの処理を完全にスキップします（特定の図書館パラメータの更新をスキップするだけでなく、このジョブの実行によるポートフォリオ更新プロセス全体をスキップします）。ジョブレポートでの発生を示すラベル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図書館の更新はスキップされました - 図書館がすでに電子コレクションに設定されているために図書館の更新がスキップされたポートフォリオの数（ポートフォリオが電子コレクションの図書館を継承しているため）。 • ポートフォリオの更新はスキップされました - 電子コレクションに別の図書館がすでに設定されているために図書館の更新がスキップされたポートフォリオの数（ポートフォリオが電子コレクションの図書館を継承しているため）。 <p>• 「利用可能」グループの追加/削除(共同ネットワーク) – 1つ以上の「利用可能」グループ設定を削除します</p> <hr/> <p>Note</p> <p>これらのフィールドの詳細については、ビデオジョブを使用して「利用可能」グループをポートフォリオのセットに割り当てる (7分3秒)を参照してください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • 電子資料のタイプ - 電子資料のタイプを参照してください。 • ローカルカバレッジ情報を削除 – 日付情報やエンバゴを含むすべてのローカルカバレッジ情報を削除します。これは [カバレッジステートメント] のラジオボタンがアップデートされないことにご注意ください。 • パブリックアクセスモデルの設定 - 事前定義された一連のポートフォリオで Public Access Model フィールドを更新できます。 • ライセンス • PDA – PDAプログラムへの関連付け • 静的URLの接頭語の削除・交換 – URLの接頭語を削除・交換します。たとえば、HTTPからHTTPSに置き換えます。交換の際、ローカルURLがすでに存在する場合はローカルフィールドが置き換えられ、存在しない場合は指定されたURLがローカルフィールドに配置されます。 • 静的URLの接頭語を削除または置換 – URLの接頭語を削除・交換します。(例: .COM から .ORG—for example, from .COM to .ORGへ)。交換の際、ローカルURLがすでに存在する場合はローカルフィールドが置き換えられ、存在しない場合は指定されたURLがローカルフィールドに配置されます。 <hr/> <p>Note</p> <p>Alma では、「電子ポートフォリオ情報の変更」ジョブで接頭語と接尾辞のパラメータを同時に使用することが制限されています。両方を変更するには、ジョブを別々に実行する必要があります。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • プロキシの有効化/設定 • 利用可能なステータス – アクティブまたは非アクティブ • 利用可能開始日 - ポートフォリオがいつ自動的に利用可能に設定されるかを指定します。詳細については、電子ポートフォリオエディターのページを参照してください。 	電子在 庫オペ レータ ー

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> • 利用可能終了日 - ポートフォリオがいつ自動的に 利用不可に設定されるかを示します。 詳細については、電子ポートフォリオ エディターのページをご覧ください。 • 公開メモ/認証メモ/内部の説明を上書きする - これらのフィールドに新しい値を入力します • 有効化/有効化予定日 	
電子ポートフォリオを削除する	ポートフォリオ	取り消し	<p>ポートフォリオを削除します。詳細については、ローカルのポートフォリオの削除を参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <p>実行するアクションを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートフォリオがアクティブな注文明細にリンクされている場合 • ポートフォリオがアクティブなEアクティベーションタスクにリンクされている場合 • 目録のない書誌レコードを処理するため 	電子目録オペレータ (拡張)、リポジトリ管理者、リポジトリマネージャー
電子ポートフォリオをエクスポートする	ポートフォリオ	エクスポート	<p>下記のタイプのセットの電子ポートフォリオをエクスポートします：電子ポートフォリオ、電子タイトル、およびすべてのタイトル。エクスポートファイルの出力フォーマットは、TXT、KBART、またはGoogle Scholarのいずれかです (institutional_holding.xsdファイルに基づいています)。非アクティブなポートフォリオもエクスポートされるKBARTエクスポートの場合を除き、アクティブなポートフォリオのみがエクスポートされることに注意してください。(ジョブリポートにおけるアクティブな電子目録のないレコード数 (スキップ後) のカウンターが、非アクティブであるためにエクスポートされなかったレコードをリスト化します。) Almaで結果を表示するには、エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。</p> <p>デフォルトでは、Print ISSN/ISBNのみまたはE-ISSN/ISBNのみが存在する場合、Almaは既存の値を印刷およびオンライン識別子フィールドの両方にマッピングします。この動作は、顧客パラメータ「temp_kbart_identifier_export」をfalseからtrueに設定することで変更できます。この変更が行われると、Almaは印刷ISSN/ISBNのみを印刷識別子フィールドにエクスポートし、E-ISSN/ISBNのみをオンライン識別子フィールドにエクスポートし、Almaで欠落している場合はエクスポートファイルを空のままにします。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出力フォーマット - Google Scholar XMLスキーマ、TXTスキーマ、KBARTスキーマのいずれか。 • ファイル内のレコード数 - 1出力ファイルにつき保存されるレコード数 (ポートフォリオの数ではありません)：1ファイル、1000、5000、または10000。1ファイルオプションを選択しても、各コレクションは (KBARTの基準に従って) 個別のファイルに書き込まれることに注意してください。 • フォルダにエクスポート - プライベートまたは機関 (エクスポートジョブを使用してエクスポートされたフ 	電子目録オペレータ、リポジトリマネージャー

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ 説明とパラメータ	役職
		<p>ファイルの表示を参照してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> • FTPの設定 – 使用するFTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照)。 • サブディレクトリ – FTPアップロード用にファイルを配置するサブディレクトリ。 • インターフェイス名を追加 (Google Scholarのみ) – ポートフォリオのインターフェイス名がレコードに含まれるかどうか。ポートフォリオが電子コレクションの一部である場合、レコードには、電子コレクションレベルで定義されたインターフェイス名が含まれます。 <p>このオプションをオンにすると、インターフェイス名を持つポートフォリオが下記の形式でエクスポートされます：</p> <pre><item type="electronic"> <title>myTitle</title> <interface_name> myInterfaceName </interface_name> </item></pre> <p>If it does not have an interface name or if this option was not checked, the exported record is in the following form:</p> <pre><item type="electronic"> <title>myTitle</title> </item></pre> <p>このジョブの実行例については、「ポートフォリオローダー」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブなポートフォリオのみをエクスポート (KBARTのみ) – アクティブなポートフォリオのみをエクスポートするには、はいを選択します (KBARTのみで可能)。 • リンクリゾルバの基本URL (KBARTおよびTXTのみ) – 下記のフォーマットのAlmaリンクリゾルバの基本URL (示された場所にPrimo機関の情報を挿入します)： <pre>http://<host_server:port>/openurl/<inst_code>/<view_code>?</pre> <p>Almaリンクリゾルバの基本URLに不案内な場合は、Ex Librisのサポートに連絡してください。</p> <p>KBARTスキーマの場合、セット内のすべてのポートフォリオは、KBARTの基準に従って下記の方法でエクスポートされます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 同じ電子コレクションに属するすべてのポートフォリオは、1つのファイルの一部になります。 ◦ 同じインターフェイス属性を持つすべてのスタンドアロンポートフォリオは、別のファイルの一部になります。 ◦ インターフェイス属性を持たないすべてのスタンドアロンポートフォリオは、3番目のファイルの一部になります。 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>KBARTファイルの命名規則はインターフェイス名_コレクション名_日付.txtです。インターフェイス名やコレクション名が利用できない場合、システムは欠落している名前をMISCに置き換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 範囲表示を追加-エクスポートファイルに電子ポートフォリオの機関コードまたはネットワーク機関コードを含める <p>.txtフォーマットでポートフォリオをエクスポートする詳細については、ビデオ.txtフォーマットでポートフォリオをエクスポートする (5分36秒) を参照してください。KBARTフォーマットでポートフォリオをエクスポートする詳細については、ビデオKBARTフォーマットで電子ポートフォリオをエクスポートする を参照してください (6分3秒)。</p>	

一括公開

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
<ul style="list-style-type: none"> 書誌 OCLC タイトルセットの再公開 所蔵レコードを OCLC へ公開する (LHR) 一連の書誌レコードを Primo に再発行する 	一括公開 (セットタイプは書誌タイトルです)	公開	<p>Almaレコードを再公開します。たとえば、図書館や機関の名称が変更された場合に使用されます。</p> <p>詳細については、OCLCへの公開およびAlmaレコードをPrimoにエクスポートするを参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> 書誌レコードのセットをPrimoジョブに再公開するには、セットにMARCレコード (MARC 21、UNIMARC、KORMARCなどの任意の組み合わせ) またはDublin Coreレコードのいずれかが含まれている必要があります。両方が混在していない必要があります。これを実現するには、セットを作成する際に詳細検索を使用し、検索パラメータとしてレコードフォーマットを選択します。詳細については、検索フィールドの説明を参照してください。 OCLC ジョブを1日1回実行する。OCLCは公開されたデータを1日1回処理します。Almaで1日に何度も同じレコードが処理される場合、OCLCでどの順番で処理されるかは保証されず、結果としてOCLCでの最終値は実際のAlmaの状態を反映しないことに 	目録マナー、目録アドミニストレーター

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>なります。</p> <hr/> <p>パラメータ： パラメータはありません。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> NZジョブによって公開対象のレコードをマークする NZジョブによって公開対象のレコードをマークする (実装) 	一括公開 (セットタイプは書誌タイトルです)	公開	<p>ネットワークゾーン公開ジョブによってPrimoに公開されるレコードをマークします。</p> <p>ネットワークゾーンのメンバー機関によって実行されます。実装ジョブは、テスト環境で実行されます。</p> <p>ネットワークゾーンで作業してPrimoに書誌レコードを公開するおよびスケジュールされたジョブの表示を参照してください。</p> <p>パラメータ： 定義すべきパラメータはありません。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> 再公開ジョブの場合、処理されたレコードの数が提出されたレコード数よりも多いことがあります。これは、ツリーまたはデータの構造でジョブが各アイテムまたは削除された目録を処理するためです。 このジョブはPrimo VEではなく、従来のPrimoで使用してください。 	目録マネージャー、目録アドミニストレーター
<ul style="list-style-type: none"> ネットワークゾーンタイトルの再公開 ネットワークゾーンタイトルの再公開 (実装) 	一括公開 (セットタイプは書誌タイトルです)	公開	<p>Primoにレコードを再公開します。</p> <p>ネットワークゾーンによって実行します。実装ジョブは、テスト環境で実行されます</p> <p>ネットワークゾーンで作業してPrimoに書誌レコードを公開するを参照してください。</p> <p>パラメータ： 定義すべきパラメータはありません。</p>	目録マネージャー、目録アドミニストレーター

購入発注明細

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
注文明細のステータスを変更する	購入発注明細： 注文明細のレビュー および 注文明細のクローズ・再オープン・再リンク を参照	注文明細を更新する	<p>注文明細のステータスを変更します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>注文明細をキャンセル、クローズ、または削除する場合に選択します。</p> <p>キャンセルやクローズを行う場合、未解決の問題があつてAlmaに警告メッセージが表示される注文明細も強制的にキャンセルまたはクローズすることを選択できます。</p> <p>クローズを行う場合、Eアクティベーションタスクのリストからタスクを削除することを選択できます。</p> <p>下記のステータスの1つを有する注文明細のみをクローズできます：請求書待ち、更新待ち、手動更新待ち。</p>	購入オペレータ、購入マネージャー、受入管理者
注文明細情報を更新する	購入発注明細： 注文明細のレビュー および 注文明細のクローズ・再オープン・再リンク を参照	注文明細を更新する	<p>注文明細を一括で更新します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>注文明細を更新するパラメータと条件を選択します。パラメータを有効にするには、フィールドの左側にあるチェックボックスを選択する必要があります。このジョブで更新できるパラメータについては、注文明細を手動で作成するを参照してください。</p> <p>その資料の更新が必要な場合、注文明細を更新タスクリストに表示するには、手動更新を選択します (更新の処理を参照)。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>内部ノートとは異なり、受領ノートはこのジョブによって上書きされます。</p> <hr/> <p>このジョブは、選択した注文明細について許可された更新のみを実行します。たとえば：</p> <ul style="list-style-type: none"> 注文明細がクローズされており、Almaインターフェイスを使用してその注文明細にアクションを実行できない場合、このジョブでもこれらのアクションを実行できません。 さらに、注文明細が「更新待ち」などの送信済みステータスにある場合、このジョブは注文明細のベンダーを変更できません。 関連しない資料タイプが作業パラメータで選択されている場合、資料タイプは発注明細では更新されません。たとえば、資料タイプ（冊子）が作業パラメータで選択されている場合、セットに電子発注明細が含まれていると資料タイプは電子発注明細では更新されません。選択された資料タイプが作業で選択されている唯一のパラメータである場合、関連しない資料タイプはスキップされ、発注明細はリポートのスキップされた発注明細セクションに追加されます。 内部メモを更新する、および/またはリスト フィールドからラベルを追加する場合、それらは注文明細の既存のフィールドに追加されます（上書きされません）。受領ノートを更新する際、既にノートが存在している場合は、その内容が新しいノートで上書きされます。 	購入オペレータ、購入マネージャー、受入管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> レビュー中でない注文明細の場合、「注文明細情報の更新 - 高度な ジョブ」（以下を参照）のみが受入方法を更新できます。 更新日フィールドを未来の日付に変更すると、「手動更新を待機中」の注文明細のワークフローステップが「定期更新」に変更されます。 <hr/> <p>購入事業者と購買部長ロールは、POL回線情報の更新ジョブを実行する機関に範囲を限定する必要があります。ロールのスコープ設定の詳細については、ユーザーに割り当てられた役割の編集を参照してください。</p>	
注文明細情報を更新する - 高度な	購入発注明細： 注文明細のレビュー および プロセスの設定 を参照してください	注文明細を更新する	<p>PO line属性を一括アップデートします。このジョブには、注文明細が作成および/または送信された後に手動で変更できない属性が含まれます。</p> <p>受入方法を選択し、注文明細を変更します。この変更により、PO lineはPOから削除され、ワークフローのステップ [レビュー中] に設定されます。</p> <p>注文明細とそのワークフローステップを下記のように変更するには、注文明細の所有者を選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい所有者とアイテムの図書館の間に取得関係が存在しない場合、Almaは、受入していないアイテムを削除します。受領された場合、そのアイテムは注文明細から切り離されます。 ベンダーがこの図書館では利用できず、注文明細がまだ送信されていない場合、注文明細のワークフローステップはレビュー中に設定され、このベンダーは注文明細から削除されます。 資金がこの図書館では利用できず、注文明細がまだ送信されていない場合、注文明細のワークフローステップはレビュー中に設定され、この資金は注文明細から削除されません。 <p>このジョブは、上記フィールドの1つを更新できない場合、注文明細をスキップします。</p> <p>注文明細タイプを選択し、注文明細の購入タイプを変更します。ドロップダウンで選択した値が、注文明細に割り当てられる新しい値になります。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>PO line情報の更新 - 詳細 ジョブには「デジタル - 単発」と「デジタル - サブスクリプション」は含まれません。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 既存目録の処理 <p>このフィールドは、ジョブによってPO lineの目録（アイテム／所蔵／ポートフォリオ／コレクション／表記）が変更された際（例：アイテムからポートフォリオへの変更）、それをどのように処理するかを決定します。注文明細タイプの変更が同じ目録タイプ内で行われる場合、目録は注文明細にリンクされたままになります。</p>	購入オペレータ、購入マネージャー、受入管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>利用可能なオプションは、[PO lineから切り離す] / [削除] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 削除できない場合は目録を切り離す <p>このフィールドを使用すると、注文明細に目録削除に関連する未解決の問題がある場合でも、注文明細タイプの変更を強制することができ、Almaに警告メッセージが表示されます。</p> <p>[既存目録の処理] で [削除] が選択されていたにもかかわらず、目録の削除が実行できなかった場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> false (デフォルト) に設定すると、PO lineはスキップされます。 「はい」に設定すると、PO lineタイプが変更され、目録が切り離されます。 目録を手動で割り当てる <p>このフィールドは目録を自動的に作成せずに注文明細タイプを変更するかどうかを選択できます。</p> <p>注文明細タイプの変更について：</p> <ol style="list-style-type: none"> PO lineがPOから削除され、アイテムは [レビュー中] ワークフローステップに設定されます。POに残るPO lineがない場合、そのPO自体が削除されます。 <p>以下のような一部のケースでは、PO lineがPOに属している場合でも、[レビュー中] に戻されず、POから移動されないことがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> PO lineのクロス目録種別を [汎用] 目録形式から [書籍] / [電子] / [デジタル] のいずれかに、またはその逆に変更する場合。 PO lineのクロス目録種別を [電子] (ポートフォリオ) 目録形式から [電子] (コレクション) へ、またはその逆へ変更する場合。 タイプが変更されたクローズ済み注文明細の場合、目録は切り離されるだけで、削除されることはありません。また、それらはPOから移動されません。 <p>以下の場合、注文明細タイプは、異なる目録タイプや継続性を持つものに変更されず、注文明細はスキップされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークフローステップ「評価中」のPO line 請求書のステータスが「承認待ち」、「支払い準備完了」、「支払い待ち」のいずれかであるPO line。 <p>[キャンセル通知を送信] を選択すると、ジョブによる変更処理の一部としてキャンセル通知が送信されます。元のPO lineの受入方法にベンダーへの注文通知送信が含まれており、かつPO lineのステータスが送信済みである場合、PO lineキャンセル通知が送信されます。この通知の設定方法については、「Alma通知の設定」を参照してください。</p> <p>[PO line情報のアップデート] ジョブを実行するには、[購買オペレーター] および [購買マネージャー] の役割が、機関単位でスコープ設定されている必要があります。ロールのスコープ設定の詳細については、ユーザーに割り当てられた役割の編集を参照してください。</p> 	
注文明細取引	購入発注明細： 注文明細のレビ	注文	予算間の注文明細割当率を調整するか、注文明細の割当をある予算から別の予算に変更します。	購入オペレー

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
を更新する	ユー および 注文明細のクローズ ・ 再オープン ・ 再リンク を参照	明細を更新する	<p>パラメータ：</p> <p>注文明細のリスト価格や数量を変更する場合に選択します。無条件で変更するか、リストの価格/数量が空欄または空欄でない場合に変更します。価格が1未満の場合、先頭に0を入力します。たとえば、.44ではなく0.44です。注文明細の通貨タイプは変更されません。</p> <p>請求書の支払い後に残っている負債額を解除するかどうかを選択します。</p> <p>予算間の注文明細割当率を変更するか、注文明細の割当をある予算から別の予算に変更するかを選択します。</p> <p>パラメータを有効にするには、フィールドの左側にあるチェックボックスを選択する必要があります。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 予算を変更する場合は、パーセントを入力する必要があります。注文金額の全額を新しい予算に移動する必要がある場合は、100を入力します。 • [レポートコード]や[再貸出日]などの特定のパラメータを変更すると、引当金が再計算され、解除された引当金が削除される場合があります。 • 負債または負債解除を移動すると、ジョブ実行中にソース資金に一時的に負債超過が発生し、エラーが発生する可能性があります。これを防ぐには、ジョブの実行中に、超過重量制限パーセントを一時的に「制限なし」に設定します。 	タ、購入マネージャー、受入管理者
注文明細に関するユーザーをアップデートする	購入発注明細： 注文明細を手動で作成する そして その他の設定(受入) を参照してください。	注文明細を更新する	<p>機能に、一連の注文明細の関心のあるユーザーオプションをアップデートする機能を提供します。</p> <p>パラメータ：</p> <p>注文明細を更新するパラメータと条件を選択します。パラメータを有効にするには、フィールドの左側にあるチェックボックスを選択する必要があります。</p> <p>オプションを選択します。受入/有効化時にユーザーに通知し、キャンセル時に通知し、アイテムを保留します。詳細については、注文明細の手動作成の「関心のあるユーザー」のセクションを参照してください。</p>	購入オペレータ、購入マネージャー、受入管理者
注文明細ワークフローを更新する	購入発注明細： 注文明細のレビュー および 注文明細のクローズ ・ 再オープン ・ 再リンク を参照	注文明細を更新する	<p>下記のいずれかを行います：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 注文明細を準備完了からレビュー中に変更する。 • クローズまたはキャンセルされた注文明細を再オープンし、それらをレビュー中に設定する。 • レビュー中の注文明細を、プロセスの次のステップに移動する。 <p>パラメータ：</p> <p>注文明細を設定したいワークフローステージを選択します。</p>	購入オペレータ、購入マネージャー、受入管理者

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
リーディングリスト引用アップデートタスク	図書リスト	引用	<p>引用をアップデートします。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • PDFファイルを埋め込む - 引用に添付されたPDFファイルを埋め込むか、埋め込まないかを選択します。また、PDFファイルをダウンロードできないように、読み取り専用モードで埋め込むように選択することもできます。 • Rialtoのステッカー価格 - Rialtoで見つかったアイテムの引用ステッカーの価格をまとめて更新します。 <p>複数のRialto価格が存在する場合、Legantoでは、sticker_price_extraction_formulaパラメータの値（設定メニュー> Leganto > 機能 > Leganto機能）を以下のいずれかに設定することで、表示される価格を管理できます。</p> <p>このフラグは、単一引用のLegantoの手動オプションにも使用されます。</p> <p>詳細については、希望小売価格の設定を参照してください。</p> <p>このジョブを実行するための次の条件を設定することもできます：</p>  <ul style="list-style-type: none"> ◦ 最小 - 最低価格を示しています ◦ 最大 - 最高価格を示しています ◦ 中央値 - 価格の中央値を示します（デフォルト） ◦ フィールドが空白の場合 ◦ フィールドが空白でない場合 ◦ 無条件 <ul style="list-style-type: none"> • 次の変更は、引用リストのすべてのメンバーに一括で行うことができます： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 引用の削除 ◦ 引用ステータスの設定 ◦ 期日の設定 ◦ タグの削除と追加（システムタグ、つまりDCSまたはQ&Aタグは削除できません） ◦ アラートを削除 	コース予約マネージャー（機関レベルの範囲）

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> ◦ 公開メモの削除 ◦ リポジトリから引用を切り離す ◦ ファイルの削除 ◦ DOIによる強化 ◦ ソース URL の更新 — 一つソースURL は設定された (設定 > Leganto > 全般 > フィールドの正規化) (見る正規化ルールの設定)、いつソース URL を更新チェックされている、引用 URL は一括で更新されます。たとえば、プロキシ URL を一括更新します。 ◦ CDI から URL を更新する ◦ Leganto ビューアを使用する (PDFのみ) <ul style="list-style-type: none"> ▪ Leganto ビューアを使用する - Leganto で PDF 表示を扱う方法 ▪ Leganto ビューアを使用しないでください ▪ Leganto ビューアを読み取り専用で使用する ◦ 引用資料タイプの更新 <hr/> <p>Note</p> <p>引用資料タイプを書籍の章、記事、電子記事に一括更新することはできません。引用タイプを書籍の章から手動で変更する場合、タイトルはデフォルトで書籍のタイトルに設定され、書籍のタイトルフィールドが空の場合は章のタイトルが使用されます。記事からの引用タイプまたは電子記事を手動で変更する場合、タイトルはデフォルトでファイルされたタイトルになり、タイトルフィールドが空の場合は、ジャーナルタイトルが使用されます。</p> <hr/> <p>次のいずれかのオプションを使用して、書誌レコードに加えられた変更を引用と同期することもできます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • リポートモード - 書誌レコードが変更されたすべての引用に関するレポートを実行します。 レポートモードが選択されている場合、次の追加オプションの少なくとも1つを選択する必要があります。書誌レコードが変更された場合、引用メタデータを更新する、または書誌情報を削除した場合、同期されるか、または削除/消去される引用数を把握する。 • 書誌レコードが変更された場合引用メタデータの更新 - 書誌レコードが変更されたときに引用のメタデータを更新します。更新は、<code>on_locate</code>パラメータの値に従って実行されます ([フルフィルメント] > [一般] > [その他の設定])。 • 書誌レコードが削除された場合： <ul style="list-style-type: none"> ◦ 引用を削除する - 書誌レコードに関連付けられている引用を削除します。 ◦ 引用を切り離す - 書誌レコードから引用を切り離します。これには、引用を別の書誌レコードに関連付ける必要があります。 	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ 説明とパラメータ	役職
図書リストの一括更新	図書リスト	<p>図書リストのセットを更新します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> リストを削除 - リストを削除または消去します。選択すると、他のすべてのオプションが削除されます。コースがアクティブな間に図書リストを削除すると、履行されなかった書誌情報リクエストはキャンセルされます。履行されたリクエストは、期限まで現在の場所に残ります。オプションは次の通りです： <hr/> <p>Note</p> <p>リストをアーカイブしたい場合は、図書リストの公開ステータスとしてアーカイブを選択します。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 消去 - 図書リストはAlmaから消去 (完全に削除) されます。 削除 - Legantoを使用している場合、削除された図書リストを消去するか、削除された公開ステータスとともにAlmaに残すかを設定できます。これらの図書リストは、その後消去することも復元することもできます (削除されたリストの取り扱いの設定を参照してください)。それ以外の場合、図書リストはAlmaから消去されます。 図書リストのステータス - 図書リストのステータスを選択します。ステータスのリストについては、図書リストおよび書誌情報のステータスを参照してください。 図書リストの公開ステータス - 図書リストの可視性のステータスを選択します (Legantoのみ)。可視性ステータスのリストについては、図書リストおよび書誌情報のステータスを参照してください。 リストをロック (Legantoのみ) - リストのロックやロック解除を行います。 クリエイティブコモンズライセンス - 図書リストの新しいクリエイティブコモンズライセンスを選択します。利用可能なオプションは、copyright_regionパラメータによって異なります；その他の設定を参照してください。 期限日 / 表示開始日 / 表示終了日 / 割り当て先 - リストの期限日、表示開始日、表示終了日を設定し、リストの割り当て先を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 行が選択されていない場合、値は変更されません。行が選択されている場合、値は変更されず (または変更される場合があります)。 行が選択されているが、値を選択・入力しない場合、既存の値は削除されます。 行を選択し、値を選択・入力した場合、値が以前に設定されていない場合のみ値を変更するか、値が以前に設定されている場合のみ値を変更するか、無条件で値を変更するかを選択します。 すべての所有者を削除する コースの関連付けを削除する リーディングリストをPDFにまとめてエクスポート リセットオプション - 以下は UIからクリアされます (選択した場合)： <ul style="list-style-type: none"> 図書館のディスカッションをリセット 提案をリセット リーディングリストの日付をリセット セクションの表示日をリセット 引用期日をリセット パブリックアノテーションをリセット レビューリクエストのリセット 	コース予約マネージャー (機関レベルの範囲)

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> 。 教員向けレポートをリセットする <p>この機能を使用してもアナリティックスはリセットされないことに注意してください。</p>	
図書リストの引用プロセスと強化	図書リスト	引用	<p>パラメータ</p> <ul style="list-style-type: none"> 。 リソースの場所: チェックを入れると (このチェックボックスはデフォルトではオフになっています)、複数の一致が見つかった場合に引用を手動で処理するか、特定の在庫タイプに対して最初に一致するリソースを使用するかを選択できます。 。 複数の一致が見つかった場合、以下を選択: <ul style="list-style-type: none"> 。 手動で処理 — 複数の一致がある場合、引用の検索ステータスが複数リソースが見つかりましたに更新され、リソースを見つけるファセットの下に含まれ、複数一致が見つかりましたというラベルが表示されます。 。 存在する場合は、特定の在庫タイプの最初に一致するリソースを使用します (存在しない場合は手動で処理されます。「物理」、「電子」、および「デジタル」のドロップダウンリストが表示されます。これらのドロップダウンリストのデフォルトの優先順位選択は、resource_locate_multiple_matches_priority (設定メニュー>フルフィルメント>一般>その他の設定)の優先設定に従って設定されます。 。 リソースを見つける: リンクリゾルバ - 電子リソースの場合、これは引用メタデータとAlmaリンクリゾルバを使用して引用を解決しようとします。検索は、引用メタデータを書誌レコードと照合しようとします。一致が見つかった場合は、図書館にその書誌レコードの利用可能な目録があるかどうかを確認します。ある場合、検索は成功します。 。 ジャーナルを見つける — この機能を選択すると、Legantoは図書館リポジトリ内でジャーナルの引用を試みます。このオプションは、セットにジャーナルが含まれ、記事アイテムが含まれていない場合にのみ使用してください。一致が見つかった場合、アイテムは図書館にリンクされ、ステータスが「リソースが見つかりました」に更新されます。デフォルトでは、このチェックボックスは選択されていません。 。 外部リンクの検証 - URL引用の場合、URLへのアクセスを試み、有効なHTTP応答を確認します。次のエラーが確認されます: 内部サーバーエラー (500)、ページが見つかりません (404)、またはタイムアウト (504)。 。 購入リクエストの作成を有効にする — 選択すると、購入リクエストが基準ルールが満たされたときに引用のために作成されます (設定メニュー>フルフィルメント>コース>引用処理規則)。このオプションはデフォルトで選択されています。 	コース予約マネージャー (機関レベルの範囲)

リサーチアセット

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
(6月の新機能!) 研究資産セットの更新する	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>リサーチアセットを更新します。</p> <p>パラメータ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成者または提供者 - <ul style="list-style-type: none"> アセットが作成されたときに作成者または提供者が持っていた所属を置き換えます 研究者の公開プロフィールでアセットを表示または非表示にする 学術単位 - アセットの現在の所属を追加、置換、または削除します。 アクセス権 - アセットに付与されたアクセス権を置換または削除します。 ライセンス - アセットが保持するライセンスを置換または削除します。 	一般システム管理者
リサーチアセットを削除する	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>研究資産を削除します。</p> <p>パラメータ (チェックボックス):</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の資産に関連する場合は削除しないでください - チェックした場合、他の資産に関連する資産は削除されません。 ファイルが含まれている場合は削除しない - チェックした場合、ファイルを含む資産は削除されません。 予約済みのDOIが含まれている場合は削除しない - チェックした場合、DOIを含むアセットは削除されません。 	一般システム管理者
(6月の新機能!) 研究資産のDOIを登録する	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>アセットセットに DOI を登録します。</p>	一般システム管理者
研究者セットの更新	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>一度に複数の研究者に変更を加えるには、「研究者セットの更新」ジョブを使用します。</p> <p>パラメータ:</p> <p>定義すべきパラメータはありません。</p>	リサーチマネージャー
リサーチアセットファイルをインポートする	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>貴機関でEsploroが有効になっている場合にのみ表示されます。</p> <p>このジョブは、セット内のアセットを反復処理し、リンクの最後にあるファイルを見つけてEsploroにアップロードし、リンクを (現在のローカルファイル) へのポインターに変更します。</p>	リサーチアセットマネージャー

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
リサーチアセットの関係をインポートする	リサーチアセット	リサーチアセット	資産が別のシステムからインポートされると、このジョブはセット内の各アセットの関係を作成します。	リサーチアセットマネージャ
Esploroハンドルのエクスポート	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>Esploroの目録でローカル処理サーバーを更新する。エクスポート用に承認されたハンドルセットでジョブを実行します。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一般情報 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ファイル内のレコード数 ◦ フォルダにエクスポート (プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) ◦ FTPの設定 (S/FTP接続の設定を参照してください) ◦ サブディレクトリ (FTP 設定に対する相対パス) • 認証 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 認証 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 認証なし (デフォルト) – 認証情報は追加されません ▪ パブリック/プライベートキー ▪ シークレットキー ◦ 管理ハンドル – 認証用にエクスポートされたファイルに追加する管理ハンドル ◦ 管理インデックス – 認証用にエクスポートされたファイルに追加する管理インデックス ◦ プライベートキーファイルのパス (パブリック/プライベートキー認証用) ◦ パスフレーズ (パブリック/プライベートキー認証用) ◦ パスワード (シークレットキー認証用) • パラメータ <ul style="list-style-type: none"> ◦ 操作 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 作成 ▪ 追加 ▪ 変更 ▪ 除去 ▪ 削除 ◦ 索引を追加 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 索引 – ハンドルに追加する索引 ▪ URL – ハンドルに追加するURL 	リサーチアセットマネージャ
リサーチアセットを索引化する	リサーチアセット	リサーチアセット	<p>貴機関でEsploroが有効になっている場合にのみ表示されます。</p> <p>スケジュールされた再索引化を待ちたくない場合は、Primo / Primo VEにリサーチアセットをプッシュします。</p>	一般システム管理者
ユーザー定義の	リサーチアセット	リサーチアセット	Esploroが貴機関で有効になっており、リサーチアセットの正規化プロセス	リサーチ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
リサーチアセットの正規化ジョブ	セットの正規化	セット	<p>を定義している場合に表示されます。このジョブは、リサーチアセットの内容を正規化します。アセットの正規化を参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <p>各タスクには、事前に定義された正規化ルール (Droolsファイルキー) があります。希望に応じて別のものを選択できます。</p>	アセットマネージャー
リサーチアセットのエクスポート	RESEARCH_ASSETS_EXPORT	リサーチアセットをエクスポートする	<p>Esploroが貴機関で有効になっている場合に表示されます。アセットのメタデータをファイルにエクスポートします。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理的フォーマット - 現在CSVが唯一のオプションです。 フォルダにエクスポート - プライベートまたは機関；エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照 FTPの設定 - 事前に定義されたFTPの設定を選択します；S/FTPの設定を参照してください。 サブディレクトリ - FTP 設定に対する相対パス。 	一般システム管理者

ユーザー

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
更新 / ユーザー通知	ユーザー	ユーザー	<p>ユーザーのパラメータを更新し、ユーザーに通知します。</p> <p>このジョブでは、ユーザーのロールを追加 (または削除) できます。「読み取り専用」という役職パラメータを持つ役職の場合、このジョブでは、役職の追加時にそのパラメータを選択済みに設定することはできません。このジョブでは、他のタイプの役職パラメータによって役職を追加することはできません。</p> <p>このジョブの詳細については、ユーザーのセットに対する一括アクションの動画 (4分33秒) をご覧ください。</p> <p>パラメータ：</p> <p>追加/変更フィールドフィールドの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーアカウントタイプ：アカウントタイプ (内部または外部) に従って特定のフィールドを処理します。 <p>たとえば、このジョブを使用してブロックを追加する場合、そのブロックは外部ユーザーに対しては外部のブロックとして、内部ユーザーに対しては内部のブロックとして追加されます。</p> <p>内部のフィールド値が学生情報システムの更新中に上書きされることはありません。外部のフィールド値は、学生情報システムの更新中に上書きされます。</p>	ユーザー管理者、ユーザーマネージャー (機関レベルの範囲で)

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<ul style="list-style-type: none"> 内部：特定のフィールドについては、外部アカウントに属している場合でも内部であるかのように処理します。 <p>たとえば、このジョブを使用してブロックを追加する場合、そのブロックが外部ユーザーに付されている場合でも、内部のブロックとして追加されます。</p> <p>内部のフィールド値が学生情報システムの更新中に上書きされることはありません。</p> <p>この設定の影響を受けるフィールドは次の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーグループ キャンパス リソースシェア図書館 ブロックタイプを追加 統計カテゴリを追加 メモを追加 <p>内部ユーザーを外部ユーザーに変更したり、外部ユーザーを内部ユーザーに変更するには、アカウントの設定先および関連するターゲットアカウントタイプを選択します。外部ユーザーが内部ユーザーに変更されると、ユーザーのパスワードは10個のランダムな文字にリセットされます。パスワードを生成しないを選択した場合、パスワードは設定されていません；このフィールドは、アカウントの設定先オプションの1つを選択した場合にのみ表示されます。</p> <p>ユーザーにEメールを送付したり通知を行うには、ユーザーに通知を送信を選び、通知タイプを選択します。通知タイプを設定するには、ユーザー通知タイプの設定と、Almaレターの設定のユーザー通知レターを参照してください。</p> <p>このジョブによって更新できない役職は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出・返却受付オペレータ 貸出・返却受付オペレータ - 限定 貸出・返却受付マネージャー リクエストオペレータ ワークオーダーオペレータ 受入オペレータ 受入オペレータ(限定) フルフィルメントサービスオペレータ 	
ユ ー	ユ ー ザ ー	ユ ー	指定されたセットのユーザーを消去します。	

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
ザ ー を 消 去 す る		ザ ー	<p>このジョブを使用すると、システムから消去するユーザーのセット（たとえば、有効ではなくなったユーザーのセット）を選択できます。セットを選択したら、以下に説明するとおりパラメータを入力できます。パラメータはセット内のユーザーリストのフィルタリングに使用されます。ユーザーをユーザーレコードを消去するページから消去することもできます（詳細は「ユーザーを消去する」を参照）。</p> <p>パラメータ：</p> <p>このジョブのパラメータは、「ユーザーレコードを消去する」ページのパラメータと同じです。ただし、ここでは必須ではありません。つまり、デフォルト設定のままにして、セット全体に対して消去ジョブを実行し、セット内のすべてのユーザーを削除することができます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このジョブは「ユーザーレコードを消去する」ページのジョブとは異なり、「日数」フィールドに値がない場合、消去日のないユーザーも消去されます。</p> <p>日数フィールドの値が 0 の場合、除外日が過ぎたユーザーのみが消去されます。</p> <hr/>	

ベンダー

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
法的保証金の年間受入タスク	ベンダー	法的保証金の年間受入タスク	<p>逐次刊行物の法的保証金の年次アナリティックスレポートをベンダーのリストに送信します。法的保証金の取り扱いを参照してください。</p> <p>パラメータ：</p> <p>アナリティックスで年次レポートを選択します。これらのオプションを設定するには、法的保証金レポートパスの設定を参照してください。</p>	受入管理者、購入マネージャー、購入オペレータ

多機能

手動ジョブ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
URLをエ	多機能性 (セットのタイプはタ	エク	書誌レコード、電子資源、およびデジタルタイトルからURLをエクスポートします。Almaで結果を表示するには、 エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示 を参照	電子目録オペ

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
<p>クスポートする</p>	<p>タイトル、ポートフォリオ、またはアイテムにできます)</p>	<p>レポート</p>	<p>してください。また、メタデータのエクスポートも参照してください。ジョブリポートについては、エクスポートされたURLのジョブリポートを参照してください。</p> <p>壊れたリンクを見つけて修正する定期的な検証テストを実行するために、Almaから下記のものをエクスポートできます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ロジカルセットとアイテムセット 静的URLおよび動的URL 書誌レコードの856 \$ u (繰り返し可能) からのURL 電子コレクションレベルセットからのURL ポートフォリオレベルセットからのURL <hr/> <p>Note</p> <p>このジョブは、パーサーがターゲットURLを生成する必要があるポートフォリオからURLをエクスポートするために使用することはできません。これは、パーサーがAlmaで索引付けされていない特定のメタデータを必要とする可能性があるためです。このジョブによって処理されるターゲットURLを生成するためにパーサーを必要とするポートフォリオURLは、エクスポートされたファイルで「NULL」値になります。</p> <hr/> <p>エクスポートされたURLのファイルによって、LinkChecker (https://wummel.github.io/linkchecker/) など第三者の外部リンクチェッカーを使用してURLをテストすることが可能です。第三者によるこれらのオプションをサポートするために、エクスポート出力フォーマットとしてCVSとHTMLが提供されています。</p> <p>これはEZproxyの設定にも役立ちます。</p> <p>パラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理フォーマット - このジョブから生成されたファイルの出力フォーマットであるHTMLまたはCVS。 ファイル内のレコード数 - <ul style="list-style-type: none"> 1つのファイル (デフォルト) 1,000 5,000 10,000 エクスポートフォルダ - プライベートまたは機関 (エクスポートジョブを使用してエクスポートされたファイルの表示を参照) FTPの設定 サブディレクトリ (FTP設定に対する相対パス) - 選択したFTP設定内でパス名を指定するには、このオプションを使用します。 書誌URL (856 \$\$u) が存在する場合はそれを含める - 856 \$u (繰り返しフィールド) にある書誌レコードから、URLをエクスポートするジョブによって1つ以上のURLを引き出したい場合は、このオプションを選択します。このオプションは必須ではありませんが、タイトルセットで実行していてチェックボックスが選択されていない場合、URLはエクスポートされません。 <hr/> <p>Note</p> <p>856 \$uのコンテンツは、wwwまたはhttpで開始する必要があります。そのコンテンツで始まらない場合、指定された他のコンテンツはすべて無視またはスキップされます。</p>	<p>レータ、リポジトリマネージャー</p>

名称	コンテンツタイプ (セットタイプ)	タイプ	説明とパラメータ	役職
			<p>このジョブ用に選択したセットに電子コレクションやポートフォリオが含まれている場合、URL情報はそれらのリソースから取得されます。さらに、書誌レコードにそのコンテンツが存在する場合、書誌レコードの856 \$uからURLを取得することを選択できます。</p> <p>このジョブ用に選択したセットにデジタル資源が含まれる場合、デジタルレコードの保存・管理方法の性質により、結果として生じるエクスポートURLファイルのURL情報が動的に生成されます。</p>	

ジョブによって削除または変更されたレコードの復元

ジョブによって削除または変更されたレコードを復元するには、下記の役職が必要です：

- リポジトリマネージャー

Note

手動で削除されたリポジトリ・レコードを復元するには、[削除されたレコードの復元](#)を参照してください。

下記のジョブによって削除または変更されたレコードを復元できます：

- アイテムを取り消す
- ポートフォリオを削除する
- [書誌レコードを削除する]
- 電子コレクションを削除
- KORMARC/MARC21/UNIMARCの正規化
- 所蔵情報を変更する
- 典拠-優先語の修正 ([典拠 - 優先語の修正](#)を参照してください)

復元ジョブごとに最大5000件のレコードを復元できます。これには、関連するレコードが含まれます。たとえば、書誌レコードを復元する場合、所蔵レコードとアイテムレコードは別々にカウントされます。レコード数が5000件を超える場合は、サポートにお問い合わせください。必要に応じて、カスタマーサポートにこの制限を増やすように依頼できます。復元後、カスタマーサポートはこの制限を5000件に戻します。

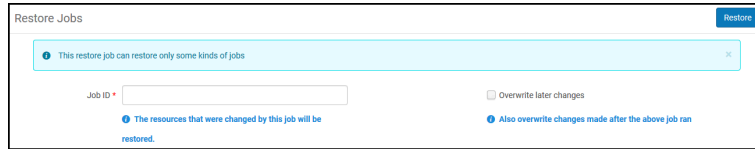
復元ジョブの機能を実行する際は、ロールバックできないため注意してください。

Note

- 復元ジョブは、サプレスされたレコードタイプ (書誌レコードや所蔵レコード) を適切に処理できません。
- 中止されたジョブ (停止されたジョブの実行) には使用可能なログがなく、中止しても、すでに処理されているレコードには影響しません。

ジョブによって削除または変更されたレコードを復元するには：

1. 「復元ジョブ」のページで(リソース > アドバンスツール > 復元ジョブ)、レコードを削除または変更したジョブのジョブIDを入力します。



復元ジョブ

2. このジョブの実行後に行われた変更を上書きするには、その後の変更を上書きするを選択します。
3. 復元を選択し、確認ダイアログボックスで確認を選択します。削除または変更されたレコードが復元されます。

復元されたレコードのレポートは、「ジョブの管理」ページで表示できます。復元されたレコードと復元できなかったレコードのレポートを見るには、**CSVをダウンロード**を選択します。

ジョブ情報のユーザーID

[2026年2月開始] **detailed_creator_and_modifier_for_job_changes** パラメータ (設定 > 一般 > 一般設定 > その他の設定) が「真 (true)」に設定されていると (デフォルトは「偽 (false)」)、手動ジョブを実行した際に、ジョブが更新したAlmaエンティティにおいてユーザーIDが「System」に追加されます。例えば、ユーザーJohn_Bransonが手動ジョブを実行した場合、物理的な資料エディタの**変更者**フィールドに「System」と表示される代わりに、AlmaはJohn_Branson (System)」と表示します。

この機能は、**今すぐ実行**が選択された非スケジュールの手動ジョブ、または**実行オプション**が使用されたスケジュール済みジョブにのみ適用されます。

Note

- このパラメータを有効にすると、この時点以降のデータに**変更**が生じ、過去にさかのぼってこのデータを**変更**することはできなくなります。このパラメータを再度無効にすると、その時点以降のデータが**変更**され、これも過去にさかのぼってこのデータを**変更**することはできなくなります。
- このフィールドは、一般的に分析レポートで使用されます (例：物理的な資料の主題領域の**変更者**)。新しい顧客パラメータを有効にすると、この時点からデータがそれに応じて**変更**され、過去にさかのぼってこのデータを**変更**することはできなくなります。このパラメータが無効になっている場合も同様です。